

富山県
総合計画

元気とやま創造計画

— とやま新時代へ 新たな挑戦 —



みんなで創ろう！人が輝く元気とやま新時代
— 活力、未来、安心のふるさと —





人が輝く 元気とやま新時代に向けて

近年、アジア諸国の経済成長をはじめとするグローバル化や第4次産業革命によるイノベーションの進展、本格的な人口減少社会の到来など、本県を取り巻く社会経済情勢は大きく変化しています。

一方、県内では、県民の半世紀近い悲願であった北陸新幹線が開業し、観光地等での入込客数の増加、企業の本社機能の一部や研究開発拠点の移転・立地など各地で様々な効果が現れており、まさに富山県は新時代を迎えています。

こうしたなか、県では、概ね10年後を見据えた富山県の目指すべき将来像を描き、先見性や実効性のある取組みを進めていくため、幅広い県民の皆さんにご意見をお聴きしながら、このたび新総合計画「元気とやま創造計画－とやま新時代へ 新たな挑戦－」を策定しました。

今後、北陸新幹線の開業と国の地方創生戦略の2つの追い風を最大限に活かしながら、この計画に基づき、若者も高齢者も、男性も女性も、一人ひとりが高い志を胸に、未来に向け、夢と希望を持って、いきいきと働き暮らせる「元気な富山県」の実現に向け、県民の皆さんの参画のもと、「とやま新時代」にふさわしい県づくりを進めてまいります。

平成30年11月

富山県知事 石井 隆 一



目次

| | |
|--------------|----|
| 富山県における状況変化 | 02 |
| 目指すべき将来像 | 03 |
| 重点戦略 | 04 |
| 政策の体系 | 07 |
| 基本政策 活力とやま | 09 |
| 未来とやま | 19 |
| 安心とやま | 29 |
| 重要政策「人づくり」 | 38 |
| 地域別の特性と取組み | 43 |
| 長期構想 | 44 |
| 県政運営の基本姿勢 | 45 |
| 計画の実効性の確保と推進 | 45 |

富山県における状況変化

1 北陸新幹線開業と陸・海・空の交通基盤の整備・活用

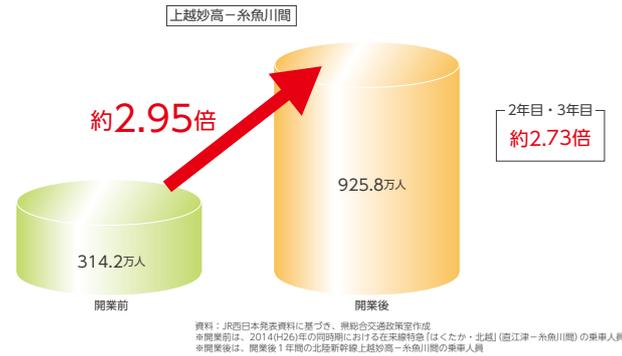
北陸新幹線の開業と新ゴールデンルートの形成

- 北陸新幹線の開業により、県内各地の観光客や宿泊者数が増加し、首都圏からの工場や本社機能の移転が相次ぐなど、企業立地が進んでいます。
- 今後の敦賀さらには大阪までの延伸により、首都圏と関西圏を北陸経由で結ぶ「新ゴールデンルート」が形成されます。

陸・海・空の交通基盤の整備・活用

- 並行在来線「あいの風とやま鉄道」は多くの県民の日常生活の足になっているとともに、国内外の観光客・ビジネス客の重要な移動手段となっています。
- 東海北陸自動車道は、日本列島の中心で太平洋側と日本海側を結ぶ大動脈であり、大規模災害時等の広域支援ルートとなります。
- 伏木富山港は国際海上コンテナの拠点として、コンテナ取扱個数がかつ15年で約2倍の伸びを示しています。
- 富山きときと空港には国際定期路線として、地方管理空港としてはトップクラスの4路線（ソウル・大連・上海・台北）が就航しており、利用者数は外国人観光客の増加等により着実に推移しています。

■北陸新幹線（長野・金沢間）開業後1年間の乗車人員



2 県内産業の新たな動き

- 新幹線開業を契機にビジネス展開が活発化しており、県内新設法人の増加、本社機能の一部移転や研究施設の移転・集約などの動きが見られます。
- 県内の医薬品産業は、受託製造の増加や国のジェネリック医薬品の使用促進策等を背景に、2015年には医薬品生産金額が全国1位となっています。
- 第4次産業革命の進展を見据え、県ものづくり研究開発センターでは、最先端設備を活用し、産学官が連携した共同研究を実施しており、ものづくり技術の高度化や人材の育成などに取り組んでいます。
- 伝統工芸品産業を中心に、県総合デザインセンターに整備された先端設備を活用しながら、デザイン性の高い商品開発に取り組む企業が増加しています。
- 農林水産業においては、富山米新品種「富富富」が2018年から本格デビューしたほか、新たなブランド魚として、県産ベニズワイガニのブランド化を推進する取組みが進められています。

3 地域の活力強化への動き

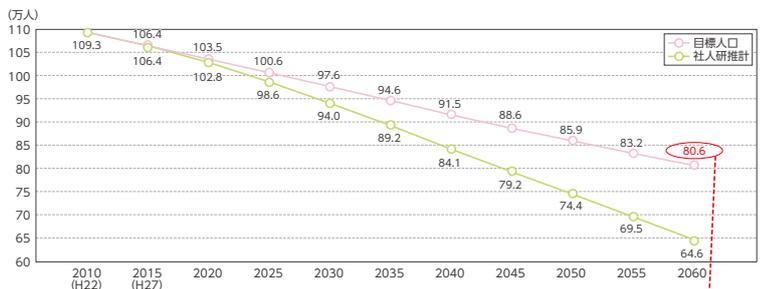
地方創生戦略による人口減少対策の推進

- 県内人口は、人口構造に占める高齢者（65歳以上）の割合が全国を上回るスピードで増加している一方で、生産年齢人口（15～64歳）は1991年をピークに減少に転じています。一方で、合計特殊出生率は子育て支援施策の拡充等により2016年には1.50と全国平均（1.44）を上回っています。
- 本県の人口は2040年には84.1万人、2060年には64.6万人へと減少が見込まれていますが、本県では「富山県人口ビジョン」を策定し、2040年に91.5万人、2060年に80.6万人となることを展望しています。

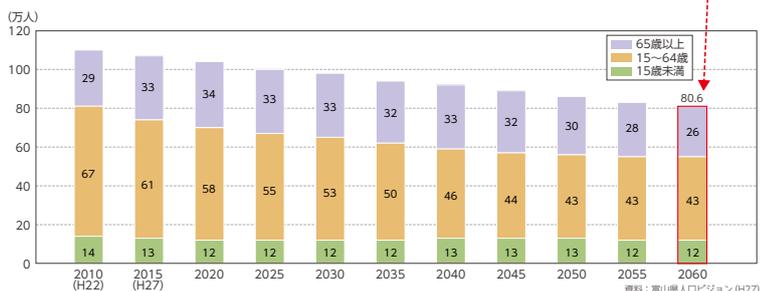
富山県の魅力の国内外への発信

- 観光分野においては、「立山黒部」への外国人観光客数の増加、富山湾の「世界で最も美しい湾クラブ」への加盟など、富山県の魅力が国内外から注目・評価されています。
- 全国初の県単位でのレジ袋無料配布廃止、小水力発電等の再生可能エネルギーの導入促進等の本県の取組みや、環境未来都市としての富山市の取組みが評価され、2016年5月にG7富山環境大臣会合が開催されました。

■富山県の人口の将来展望



■年齢3区分別人口の将来展望



目指すべき将来像

4つの県づくりの視点のもと、5つの重点戦略と100の政策（基本政策85+重要政策15）を掲げ、「とやま新時代」を切り拓く新たな取組みを推進してまいります。

県づくりの視点

新時代を迎えた富山県の10年先を見据え、富山県が一層の発展を遂げるために重要となる4つの視点を提示します。

| | | | |
|---|--|---|--|
| <h3>新たな価値創出</h3> <p>新技術・新商品の研究開発と成長産業の育成、新たな文化の創造、経済と文化の相乗効果による新たな価値創出</p>  | <h3>グローバル新時代</h3> <p>中国、アセアン、インド等新興国の成長エネルギーを取り込むとともに、欧米諸国との交流の深化を図り、ともに発展</p>  | <h3>ふるさと</h3> <p>ふるさとへの誇りと愛着を育みながら、誰もがいきいきと働き暮らせる社会を創出</p>  | <h3>人づくり</h3> <p>社会の変化に対応し、これからの富山県や日本、グローバルな舞台上で活躍できる人づくり</p>  |
|---|--|---|--|

富山県の目指すべき将来像

| | | |
|--|---|--|
| <h3>活力とやま</h3> <ul style="list-style-type: none">● 勤勉で進取の気性に富む人材、恵まれた自然、歴史・文化、交通・情報通信基盤、産業集積などを活かし、創意工夫、意欲ある取組みが展開されている「活力」あふれる県 | <h3>未来とやま</h3> <ul style="list-style-type: none">● 明日を担う人材が健やかに生まれ、文化・スポーツの振興など多彩な県民活動、ふるさとの魅力を活かした地域づくりが進められている「未来」への希望に満ちた県 | <h3>安心とやま</h3> <ul style="list-style-type: none">● 豊かな自然や生活環境を活かし、住み慣れた地域の中で、健康で快適に、安全で「安心」して暮らせる県 |
|--|---|--|

計画の基本理念（目標）

みんなで創ろう！ 人が輝く 元気とやま新時代
— 活力、未来、安心のふるさと —

政策体系（基本政策及び重要政策）

「活力とやま」、「未来とやま」、「安心とやま」を3つを柱とし、基本政策として85の政策を掲げています。

また、これらの基本政策の実施にあたり、最も重要となるのは「人」です。経済・産業、教育・文化、医療・福祉など、それぞれの分野を担う人材を育成していくことが県づくりの根幹となることから、本計画では「人づくり」を基本政策を支える重要政策として位置付け、15の政策を掲げています。

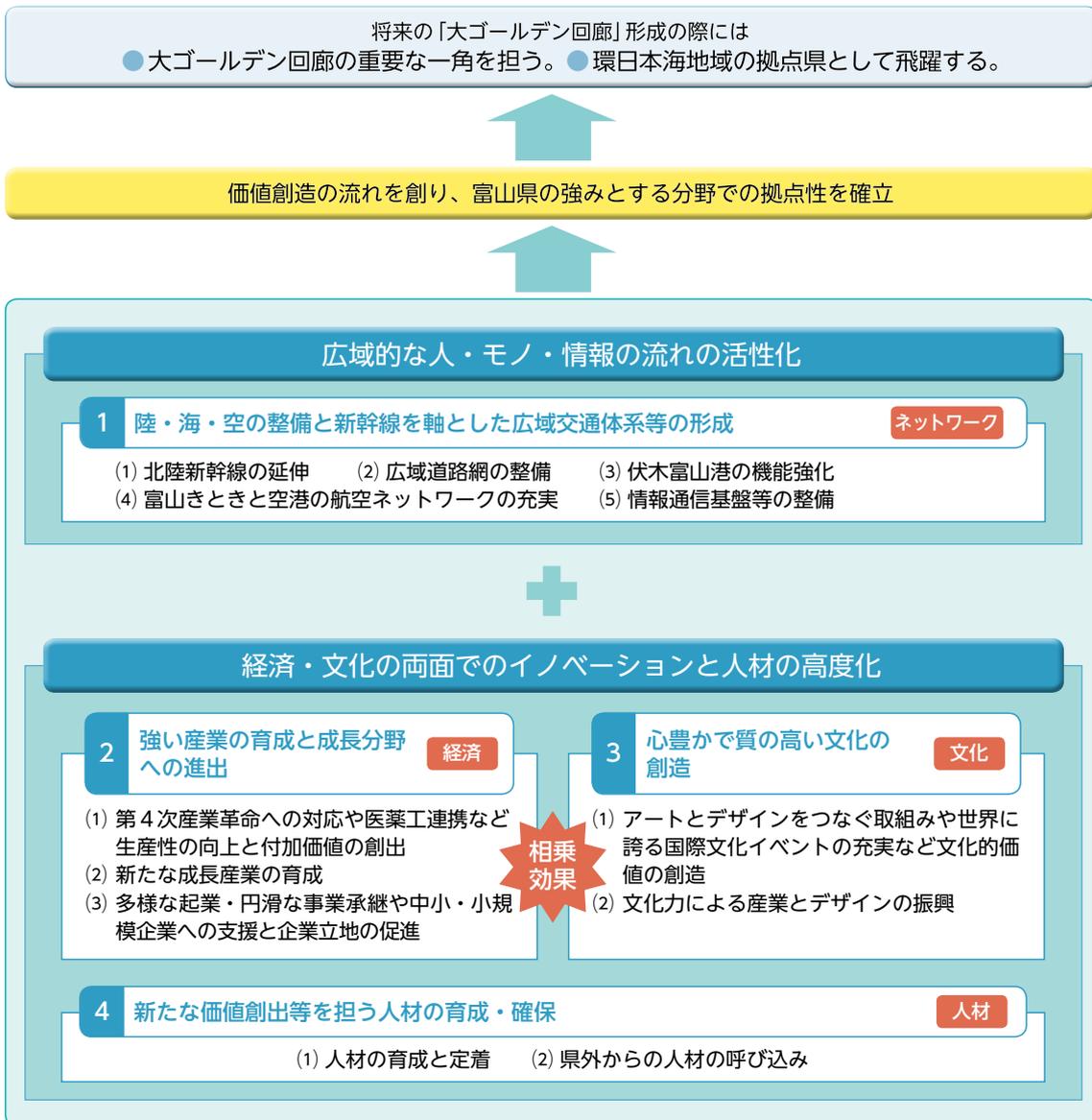


重点戦略

「活力」「未来」「安心」の各政策体系を横断的・有機的に捉え、本県の発展に不可欠な取組みを重点的かつ戦略的に進めていくため、5つの「重点戦略」を設定し、政策のメリハリを持たせて計画を推進します。

| | |
|--|--|
| とやまの価値創造戦略 ～「大ゴールデン回廊」の 拠点を目指して～ | ●技術革新やイノベーションの動向を取り込み、生産性の向上と新たな付加価値の創出による産業のさらなる成長とともに、文化との相乗効果による新たな価値創造を目指します。さらに北陸新幹線の大阪までの全線開業によって創出される「大ゴールデン回廊」の重要な一角を担うとともに環日本海地域の拠点県としての飛躍を目指します。 |
| とやまのグローバルブランド 推進戦略 | ●海、山、歴史、文化、食、ものづくりといった本県のオンリーワンの魅力に磨きをかけてグローバルに発信します。多様な人やモノの流れを活性化し、富山発のネットワークの拡大を目指します。 |
| 人口減少社会にしなやかに 対応する人と地域の活性化 戦略 | ●人口減少社会において、次世代を育成しつつ社会を支える人材が意欲的に働き、同時に家庭や地域での役割を果たすことができる生き方モデルの構築と魅力ある地域づくりを目指します。 |
| 災害に強く、環境にやさしい 持続可能な県づくり戦略 | ●豊かな環境に恵まれた富山県の特性を活かし、防災・減災、循環型・低炭素・自然共生社会づくり、再生可能エネルギー等の先進地モデルとしての確立を目指します。 |
| 健康・元気で安心な共生社 会づくり戦略 | ●若者、女性、高齢者、障害者など多様な人材が社会で活躍し、心身共に輝きを持続できるよう生涯にわたる健康づくりを総合的に推進するとともに、自立しながらも支え合う共生社会の構築を目指します。 |

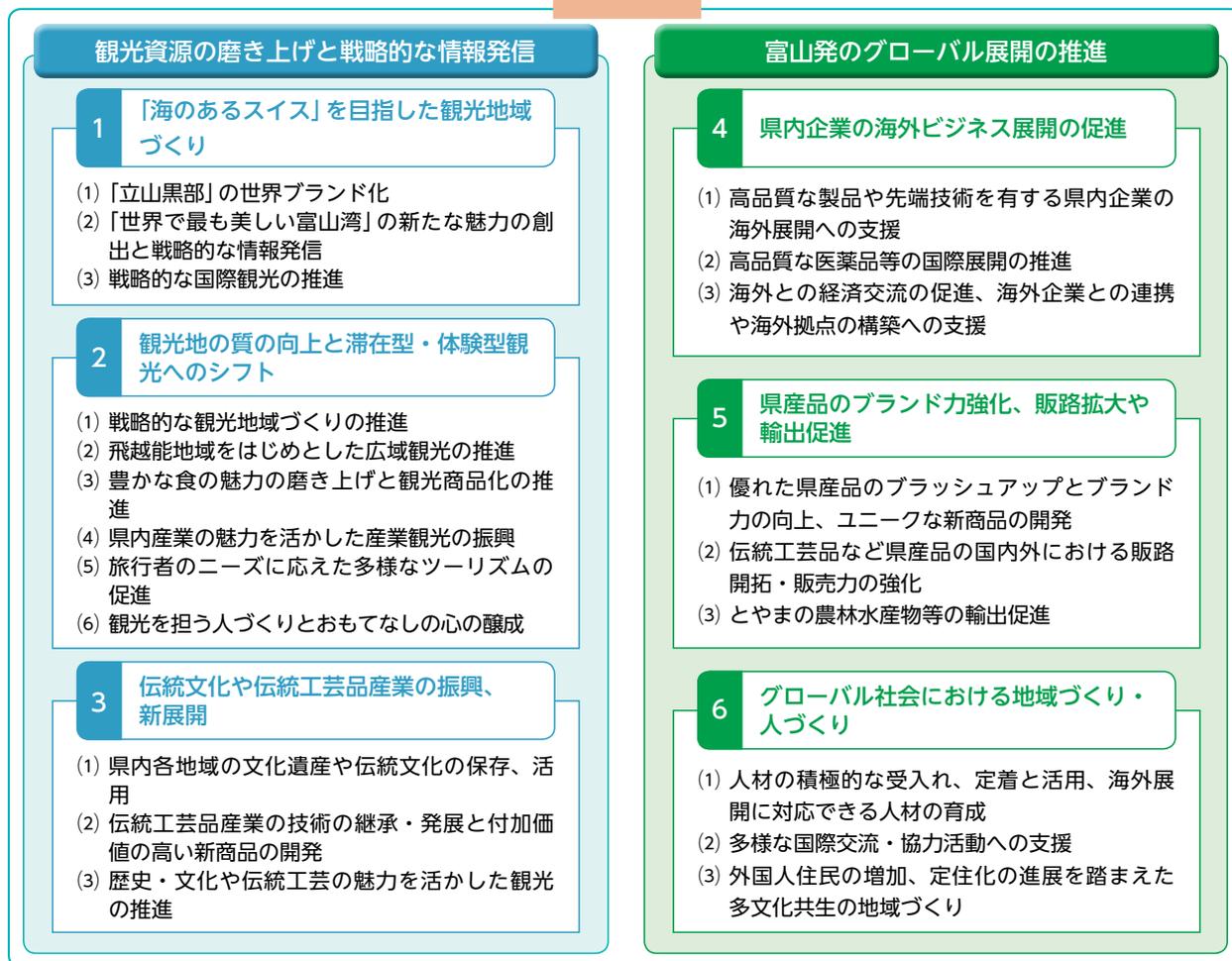
戦略 1 とやまの価値創造戦略 ～「大ゴールデン回廊（※）」の拠点を目指して～



※大ゴールデン回廊…東海道新幹線による太平洋側の「ゴールデンルート」と、北陸新幹線により北陸経由で首都圏と関西圏を結ぶ「新ゴールデンルート」との新幹線ネットワークの環状化により創出される一大交流・経済圏のこと。

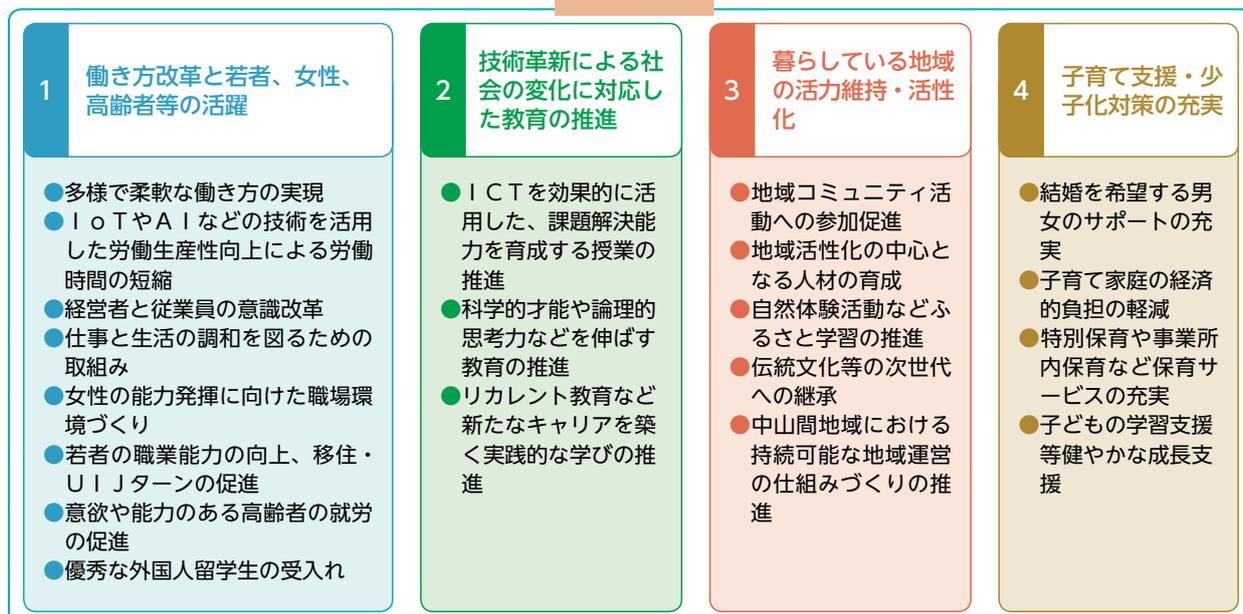
戦略 2 とやまのグローバルブランド推進戦略

グローバル展開を通じた富山県の世界ブランド化、地域経済の活性化



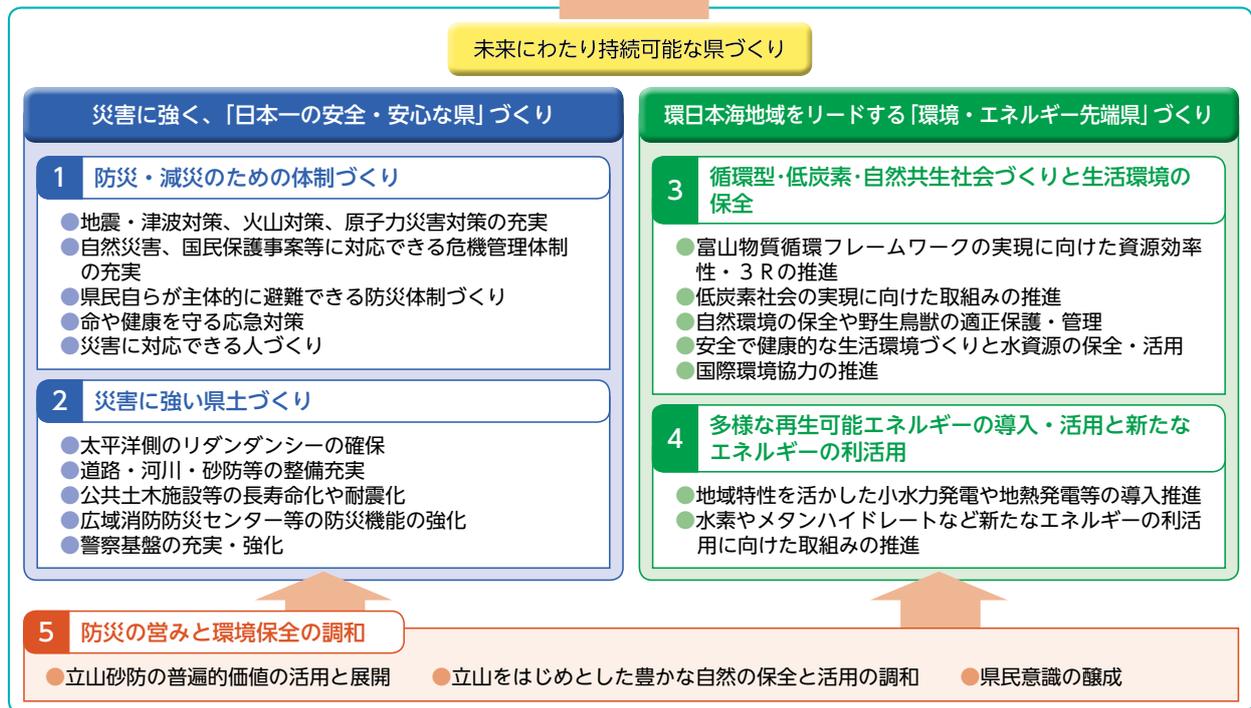
戦略 3 人口減少社会にしなやかに対応する人と地域の活性化戦略

次世代を育成しつつ社会を支える人材が意欲的に働き、同時に家庭や地域での役割を果たすことができる生き方モデルの構築と魅力ある地域の実現



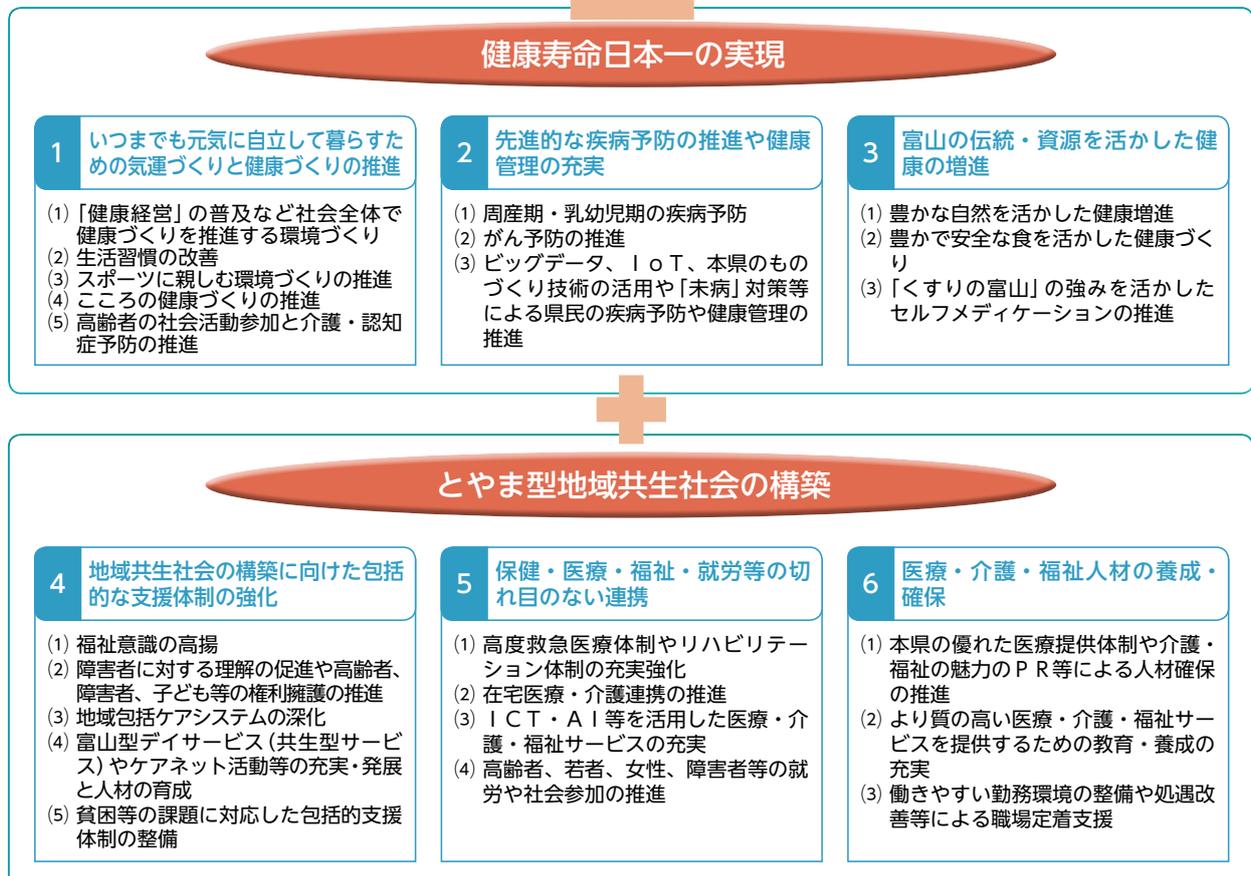
戦略 4 災害に強く、環境にやさしい持続可能な県づくり戦略

自然と共生しながら発展してきた富山県の特徴を活かし、防災・減災、循環型・低炭素・自然共生社会づくり、再生可能エネルギー等の先進地モデルとして確立



戦略 5 健康・元気で安心な共生社会づくり戦略

県民が健康・元気で安心して暮らせる共生社会の構築



基本政策

政策の体系

■ 活力とやま (30政策)

| 展開目標 1 グローバル競争を勝ち抜く力強い産業の育成と雇用の確保 | |
|--------------------------------------|-----------------------------------|
| 1 | 第4次産業革命への対応と新たな成長産業の育成 |
| 2 | 医薬・バイオ関連産業の育成など、世界の「薬都とやま」の確立 |
| 3 | 産学官の連携によるものづくり産業の高度化 |
| 4 | 起業チャレンジへの支援 |
| 5 | 人口の増加・定着に結びつく多様な企業の立地 |
| 6 | 中小・小規模企業の総合的な支援体制の強化 |
| 7 | デザイン力を高めた伝統工芸品産業の新展開とクリエイティブ産業の育成 |
| 8 | 商業・サービス業の振興と商店街の活性化 |
| 9 | 県内企業のグローバル展開への支援 |
| 10 | 雇用の確保と人材の育成 |
| 展開目標 2 生産性・付加価値の高い農林水産業の振興 | |
| 11 | 意欲ある若い担い手の育成・確保と農業経営基盤の強化 |
| 12 | 農業経営の効率化と高付加価値化の推進 |
| 13 | 食のとやまブランドの確立と地産地消、国内外の市場開拓 |
| 14 | 森林の整備と林業の振興、県産材の活用促進 |
| 15 | 水産業の振興と富山湾のさかなのブランド力向上 |
| 展開目標 3 環日本海・アジア新時代に向けた陸・海・空の交通基盤等の強化 | |
| 16 | 北陸新幹線の早期全線開業による新ゴールデンルートの形成 |
| 17 | 新幹線の開業効果の持続・深化と三駅を核とする広域交流等の促進 |
| 18 | あいの風とやま鉄道の利便性の向上 |
| 19 | 高速道路、幹線道路から生活道路までの道路ネットワークの整備 |
| 20 | 日本海側総合的拠点港としての伏木富山港の機能強化 |
| 21 | 国内外との航空ネットワークの維持・充実と空港の活性化 |
| 22 | 行政情報のオープンデータ化とWi-Fi環境等の整備促進 |
| 展開目標 4 観光振興と魅力あるまちづくり | |
| 23 | 選ばれ続ける観光地づくりー海のあるスイスを目指してー |
| 24 | うるおいのあるまちづくりと中心市街地の賑わいの創出 |
| 25 | 国際的ブランド「世界で最も美しい富山湾」の活用と保全 |
| 26 | 「立山黒部」の世界ブランド化と戦略的な国際観光の推進 |
| 27 | 産業観光をはじめとした多彩なツーリズムの展開 |
| 28 | 観光人材の育成とおもてなしの心の醸成 |
| 29 | 豊かな食の磨き上げと発信 |
| 30 | 富山のブランド力アップに向けた戦略的展開 |

■ 未来とやま (28政策)

| 展開目標 1 結婚・出産・子育ての願いがかなう環境づくりー県民希望出生率1.9へー | |
|---|--------------------------------------|
| 1 | 出会いから結婚、妊娠、出産までの切れ目のない支援の推進 |
| 2 | 保育サービスの拡充など積極的な子育て支援等の展開 |
| 3 | 仕事と子育てを両立できる職場環境づくり |
| 4 | 子育て家庭などの経済的負担の軽減 |
| 5 | 子どもの健やかな成長支援 |
| 展開目標 2 真の人間力を育む学校教育の振興と家庭・地域の教育力の向上 | |
| 6 | 少人数指導と少人数学級の組合せ等による充実した教育の推進 |
| 7 | 一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実 |
| 8 | いじめ・不登校対策と人権を大切に作る心の育成 |
| 9 | 子どもの可能性を伸ばす教育の推進 |
| 10 | 家庭・地域の教育力の向上 |
| 11 | 大学教育の振興とコンソーシアム等の活性化 |
| 12 | 県立大学における教育研究体制の充実と地域への貢献 |
| 13 | 生涯にわたる多様な学びの推進 |
| 14 | ふるさとを学び楽しむ環境づくり |
| 展開目標 3 文化・スポーツの振興と多彩な県民活動の推進 | |
| 15 | 県民が芸術文化と出会い、親しむ環境づくり |
| 16 | 県民が芸術文化の創造に参加し、交流する機会の充実 |
| 17 | 質の高い文化の創造と世界への発信 |
| 18 | スポーツに親しむ環境づくりの推進 |
| 19 | 全国や世界の檜舞台で活躍する選手の育成 |
| 20 | 多様なボランティア・NPO活動の推進 |
| 21 | 若者の自立促進と活躍の場の拡大 |
| 22 | 男女共同参画社会づくり |
| 23 | グローバル社会における地域づくり・人づくり |
| 展開目標 4 ふるさとの魅力を活かした地域づくり | |
| 24 | 「くらしたい国、富山」の発信による移住の促進 |
| 25 | 自然や歴史・文化など地域の魅力のブラッシュアップと世界文化遺産登録の推進 |
| 26 | 地域の個性を活かした景観づくり |
| 27 | 豊かで美しい農山漁村の持続的な発展と都市との交流 |
| 28 | 水と緑の森づくり・花と緑の地域づくり |

重要政策

安心とやま (27政策)

| 展開目標 1 いのちを守る医療の充実と健康寿命日本一 | |
|-------------------------------------|-----------------------------------|
| 1 | 医師の養成・確保 |
| 2 | 看護師・保健師・助産師の養成・確保 |
| 3 | 最先端のがん医療など総合的ながん対策の推進 |
| 4 | 質の高い救急医療・リハビリ医療・在宅医療等の提供体制の充実 |
| 5 | 健康寿命日本一を目指す総合対策の推進 |
| 6 | 人の痛みに寄り添い、支える場づくり |
| 7 | 食の安全の確保、食育の推進 |
| 展開目標 2 住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉の推進 | |
| 8 | 地域包括ケアシステムの構築と地域共生社会の形成 |
| 9 | 保健・医療・福祉の切れ目のない支援 |
| 10 | 介護・福祉人材の確保のための環境整備 |
| 11 | 高齢者の介護予防と介護サービス、認知症対策の充実 |
| 12 | 障害者に対する差別の解消と障害等の特性をふまえた支援 |
| 13 | 障害者が地域で安心して暮らせる体制の整備 |
| 展開目標 3 環日本海地域をリードする「環境・エネルギー先端県」づくり | |
| 14 | 循環型社会・低炭素社会づくりの推進 |
| 15 | 「富山物質循環フレームワーク」の実現に向けた「とやまモデル」の確立 |
| 16 | 豊かな自然環境の保全 |
| 17 | 安全な生活環境の確保と環日本海地域の環境保全 |
| 18 | 清らかな水資源の保全と活用 |
| 19 | 再生可能エネルギーの導入、新たなエネルギーの利用に向けた開発の促進 |
| 展開目標 4 災害に強く、「日本一安全・安心な県」づくり | |
| 20 | 消防力や地域防災力等の強化による防災・危機管理体制の充実 |
| 21 | 防災・減災、災害に強い県土づくり |
| 22 | 地震・津波対策、火山対策、原子力災害対策の充実 |
| 23 | 雪に強いまちづくり |
| 24 | 犯罪の抑止と交通安全対策の推進 |
| 25 | 地域公共交通の維持活性化と新たな展開 |
| 26 | 安全・安心で豊かな住環境づくり |
| 27 | 消費生活の安全の確保 |

人づくり (15政策)

| テーマ 1 富山県や日本を担う子どもの育成 | |
|------------------------------|-------------------------------|
| 1 | 優れた知性、豊かな心、たくましい体を持った子どもの育成 |
| 2 | チャレンジ精神あふれる、困難にくじけない子どもの育成 |
| 3 | 家族や地域の絆、ふるさとを大切にすることの育成 |
| テーマ 2 若者の成長と自立、起業の支援、社会参加の促進 | |
| 4 | たくましく成長するための支援と社会で活躍できる人材の育成 |
| 5 | 若者の職業的自立や起業の支援 |
| 6 | 若者の社会の一員としての自立促進 |
| テーマ 3 女性の活躍とチャレンジへの支援 | |
| 7 | 女性が能力を発揮でき、安心して働き続けられる環境づくり |
| 8 | 女性のキャリアアップ、管理職への積極的な登用などの推進 |
| 9 | 女性の起業や再就職などの支援、女性の研究者・技術者等の育成 |
| テーマ 4 すべての人が活躍できる環境づくり | |
| 10 | がんばる働き盛りなどへの積極的な支援 |
| 11 | コミュニティや地域活性化を担う人材が育つ環境づくり |
| 12 | 大人から子どもへの貧困の連鎖の防止 |
| テーマ 5 エイジレス社会実現と「かがやき現役率」の向上 | |
| 13 | 元気な高齢者の就業・起業支援 |
| 14 | 高齢者の地域貢献活動の支援 |
| 15 | 高齢者の知識や経験、技能の継承 |

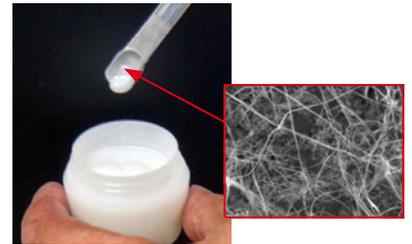


活力 1 第4次産業革命への対応と新たな成長産業の育成

政策 第4次産業革命による技術の進展に対応し、富山県の強みである素材分野の技術や産業集積を活かしてイノベーションが起こり、
目標 県内企業が生産性の向上や新たなビジネスモデルの創出、成長産業への参入に挑戦していること。

■ 主な施策

| | |
|----------------------------------|---|
| IoT、AI、ロボットの導入など新たなものづくり基盤の強化 | <ul style="list-style-type: none"> IoT等新技術の導入・活用について考える場の創出 IoTやAI、ロボットの導入など設備投資に対する支援 |
| 先端ものづくり産業の育成(航空機産業、ロボット産業など) | <ul style="list-style-type: none"> 航空機産業への参入に必要な国際認証の取得に対する支援など、県内企業グループによる共同受注の促進 先端技術の情報提供や先導的研究の実施などによるロボット産業への参入の促進 |
| 環境・エネルギー関連産業の育成(次世代自動車・水素インフラなど) | <ul style="list-style-type: none"> 次世代自動車関連産業への参入の支援 再生可能エネルギー関連技術や商品開発の支援 水素社会の実現に向けた、水素ステーションなどの普及啓発の取組みや、県内企業の関連産業への参入の支援 |



鉄に比べて重さが約5分の1、強度が5倍の特徴を持つセルロースナノファイバー

| 県民参考指標 | | |
|-------------------------|-------------------------|-----------|
| 機械・金属の製造品出荷額 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 1兆3,437億円 2010 (H22) | 1兆5,120億円 2015 (H27) | 1兆8,800億円 |

活力 2 医薬・バイオ関連産業の育成など、世界の「薬都とやま」の確立

政策 高い技術力や産業集積など「くすりの富山」の強みを活かし、県内企業などが新たな成長分野に挑戦するとともに、海外への販路を拡大させ、本県医薬品産業がさらに発展していること。

■ 主な施策

| | |
|---------------------------------------|--|
| 新たな成長分野への参入等の促進や付加価値の高い製品を生み出す技術力等の強化 | <ul style="list-style-type: none"> バイオ分野などにおける研究開発の支援 高度な製剤技術・製造技術を活用した製品開発の支援 ものづくり技術を活かした医療機器・介護機器等の開発の支援 |
| 医薬品産業を支える人材の育成 | <ul style="list-style-type: none"> 県内企業における技術者の資質向上の支援 技術実習等を通じた、人材育成の支援 実践的な教育プログラムの提供 |
| 医薬工連携の推進 | <ul style="list-style-type: none"> 分野ごと(医薬品、化粧品、医療機器等)の企業同士のマッチングや新たな製品・技術の開発の支援 新たな医薬品・機能性食品などの開発・事業化の支援 |
| 高品質な医薬品等の国際展開の推進 | <ul style="list-style-type: none"> アジア地域をはじめとする国・地域への販路拡大の支援 海外の企業や大学、研究機関などとの連携による研究開発や市場開拓の推進 |



県薬事総合研究開発センター「創薬研究開発センター」外観図(2018年5月開設)

| 県民参考指標 | | |
|-----------------------|-----------------------|------|
| 医薬品生産金額 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 4,737億円 2010 (H22) | 7,325億円 2015 (H27) | 1兆円 |

活力 3 産学官の連携によるものづくり産業の高度化

政策 産学官共同研究や大学等から企業への技術移転により、様々な分野において新技術や新商品が数多く開発、実用化されるとともに、本県のものづくり技術が高度化し、産業の競争力が強化されていること。

■ 主な施策

| | |
|---------------------------|---|
| 産学官連携体制の強化 | <ul style="list-style-type: none"> 産学官共同研究プロジェクトを推進する体制の充実 県内企業の連携によるコンソーシアムの立ち上げ支援による新技術・新商品の開発の促進 |
| 産学官共同研究の促進 | <ul style="list-style-type: none"> ものづくり研究開発センターの設備を活用した産学官共同研究の推進 企業間連携によるコンソーシアムの構築による、新たな事業化の推進 |
| 知的財産の活用 | <ul style="list-style-type: none"> 大学や公設試験研究機関の技術シーズと県内企業のニーズとのマッチングによる企業への技術移転の促進 |
| 開放型研究施設・設備の充実 | <ul style="list-style-type: none"> 大学や公設試験研究機関の開放型研究施設・設備の充実 |
| ものづくり技術を支える人材(研究者・技術者)の育成 | <ul style="list-style-type: none"> 長期インターンシップ(大学生等)や最先端技術研修などの実施 共同研究活動を通じた企業の若手研究者、技術者の育成 |



富山県ものづくり研究開発センター

| 県民参考指標 | | |
|--------------------|--------------------|------|
| 年間産学官共同研究件数 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 336件 2012 (H24) | 379件 2016 (H28) | 430件 |

活力 4 起業チャレンジへの支援

**政策
目標**

起業にチャレンジする県民が増えるとともに、多様な起業家が生まれ、成長し、国内外で意欲的に事業展開していること。

■ 主な施策

| | |
|--------------------------|--|
| 起業マインドの醸成と起業家の育成(潜在・準備期) | <ul style="list-style-type: none"> ● 「とやま起業未来塾」による起業・新分野進出への支援 ● 富山を拠点とする起業家を支援するための県内経済界などによるバックアップ体制の強化 |
| 事業資金や販路開拓への支援(スタートアップ期) | <ul style="list-style-type: none"> ● ベンチャーファンドによる長期低利な資金の供給や債務保証 ● 商品やサービス等の発掘、市場調査や国内・海外の見本市出展など販路開拓の総合的な支援 ● 首都圏等でのビジネスパートナーや投資家等との出会いの斡旋 |
| 販路拡大への支援(成長期) | <ul style="list-style-type: none"> ● 経営革新計画の策定指導や計画推進の支援 ● 大都市圏での商談会や展示商談会の開催 |



「とやま起業未来塾」マーケティング講座

| 県民参考指標 | | |
|---------------------|---------------------|-------|
| とやま起業未来塾修了生創業等済率 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 69.3% 2011 (H23) | 71.8% 2016 (H28) | 72%以上 |

活力 5 人口の増加・定着に結びつく多様な企業の立地

**政策
目標**

企業の立地環境が一層充実し、若者や女性の雇用につながる本社機能・研究開発拠点等や、成長性が高く地域経済の発展に貢献する企業が、数多く富山県に進出してきていること。

■ 主な施策

| | |
|------------------|---|
| 魅力的な企業立地環境の整備 | <ul style="list-style-type: none"> ● 北陸新幹線や高速道路、港湾、空港などの交通基盤の整備促進 ● 試験研究機関、産学官連携による企業支援体制の整備 |
| 積極的な企業誘致活動の展開 | <ul style="list-style-type: none"> ● 安全・安心で優れた立地環境のPR ● 若者や女性の雇用につながる本社機能・研究開発拠点等の誘致、県外からの人材確保に対する支援 ● 首都圏等での企業立地セミナーの開催などトップセールスの実施 |
| 県内立地企業に対する総合的な支援 | <ul style="list-style-type: none"> ● 新規立地や規模拡大、物流機能の強化への支援など、ニーズに対応した助成制度等の整備 ● 産業動向や企業ニーズなどに関する迅速な情報収集と適切な情報提供の実施 |



地方拠点強化税制に基づく認定通知書交付式

| 県民参考指標 | | |
|-------------------|-------------------|------|
| 企業立地件数(年間) | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 37件 2011 (H23) | 57件 2016 (H28) | 68件 |

活力 6 中小・小規模企業の総合的な支援体制の強化

**政策
目標**

本県産業を支える中小・小規模企業が、社会の変化に伴う新たなニーズに的確に対応し、柔軟性を発揮しながら、活発に企業活動を展開していること。

■ 主な施策

| | |
|-----------------------------|---|
| 中小・小規模企業への支援体制の充実・強化 | <ul style="list-style-type: none"> ● 経営課題に対応するための支援体制の充実・強化、事業承継ネットワークの構築 ● 研究開発や知的財産権の保護から事業化、販路開拓までの総合的な支援 |
| 新事業展開、販路開拓、新商品・新技術の研究開発への支援 | <ul style="list-style-type: none"> ● 中小企業支援ファンドによる、ものづくり技術や地域資源の活用、農工商連携による新技術等の研究開発と販路開拓支援 |
| 資金面の支援 | <ul style="list-style-type: none"> ● 資金繰り支援による経営安定化、信用保証制度を活用した資金調達の円滑化 ● 「元気とやま中小企業総合支援ファンド」を活用した社債の引受け、債務保証等の支援 |
| 人材の育成と確保への支援 | <ul style="list-style-type: none"> ● 「後継者人材バンク」を活用したマッチング支援、事業承継ネットワークの活用 |
| 建設業経営基盤安定への支援 | <ul style="list-style-type: none"> ● 発注時期の平準化やICTを活用した工事施工の推進 ● 労働環境の改善、人材確保・育成事業への支援 |



地域資源ファンドを活用した新商品の開発

| 県民参考指標 | | |
|----------------------------|-----------------------|---------|
| 県内中小企業(製造業)の従事者1人当たりの付加価値額 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 895万円 2011 (H23) | 1,004万円 2015 (H27) | 1,240万円 |

活力 7 デザイン力を高めた伝統工芸品産業の新展開とクリエイティブ産業の育成

政策 伝統工芸品産業をはじめ、幅広い産業分野において、デザイン性に優れ、高機能で消費者の感性に合致した製品が数多く開発
目標 されるとともに、これらを担うデザインを中心としたクリエイティブ産業・人材が集積していること。

■ 主な施策

| | |
|-----------------------------------|--|
| 伝統工芸品などのデザインを活かした魅力的な商品の共同開発と販路開拓 | <ul style="list-style-type: none"> ● デザイン相談や商品の共同研究・開発の推進 ● アートとデザインを活用した商品やパッケージ等の開発の支援 |
| 国内外とのデザイン交流の促進 | <ul style="list-style-type: none"> ● クリエイティブ・デザイン・ハブを核とした国内外デザイナー等との連携促進及びデザイン交流ゾーンとしてのPR強化 ● 台湾デザインセンターとの連携などによる海外向けの商品開発支援 |
| デザイン人材の育成 | <ul style="list-style-type: none"> ● 県内外大学との連携による、県内企業とデザイン系学生とのマッチングの促進 |
| 伝統工芸品産業における希少な技法の継承等への支援 | <ul style="list-style-type: none"> ● 伝統工芸における若い後継者への技法、デザイン、マーケティング等の体系的な習得の支援 |
| クリエイティブ産業の育成・集積 | <ul style="list-style-type: none"> ● クリエイターと企業の連携促進を目的としたビジネスマッチング機会の創出 |



クリエイティブ・デザイン・ハブ 外観

| 県民参考指標 | | |
|----------------------|----------------------|--------|
| 伝統工芸品産業従事者数 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 1,865人 2011 (H23) | 1,739人 2016 (H28) | 1,859人 |

活力 8 商業・サービス業の振興と商店街の活性化

政策 地域の特徴を活かした魅力あふれる商店街が賑わっていると同時に、様々な分野での新しいサービス業が活発に展開されていること。
目標

■ 主な施策

| | |
|---------------------------|---|
| サービス業のイノベーション、生産性の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ● 経営のIT化やネットビジネスなどの促進 ● 革新的サービスの開発やIoT導入促進等に対する融資や助成 |
| 魅力ある商店街づくりと人材の育成支援 | <ul style="list-style-type: none"> ● 環境変化への対応や空き店舗・後継者問題等の課題解決に向けた商店街の新たな取組みに対する支援 ● 若者や女性、移住者など様々な主体と連携した、まちなかエリア全体の活性化の促進 |
| 新たなニーズ・課題に対応した商業・サービス業の振興 | <ul style="list-style-type: none"> ● 買い物支援の在り方について検討し、継続性・採算性のある事業の確立の支援 ● モノを共有するシェアリングエコノミーやコト消費等の新しいビジネスの促進 |



店主と学生が商店街の未来を語り合う座談会（南砺市ほか）

| 県民参考指標 | | |
|-------------------------|-------------------------|-----------|
| 県民1人当たりの小売業の年間商品販売額 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 1.06百万円/人 2007 (H19) | 1.02百万円/人 2014 (H26) | 1.10百万円/人 |

活力 9 県内企業のグローバル展開への支援

政策 新たなビジネスチャンスを求めて、環日本海、アジア地域など幅広い地域において県内企業のビジネス展開や販路開拓が進む
目標 とともに、国際的な物流ネットワークが形成され、経済交流が拡大していること。

■ 主な施策

| | |
|---------------------|--|
| 海外ビジネス展開の促進 | <ul style="list-style-type: none"> ● 富山県ものづくり総合見本市の開催等による商談機会の創出 ● 海外からのバイヤー受入れ等による商談機会の充実 |
| 海外ビジネスにおけるサポートの充実 | <ul style="list-style-type: none"> ● 幅広い地域に関する情報収集・提供機能の充実 ● (公財)富山県新世紀産業機構によるワンストップできめ細かな相談窓口の充実 |
| 経済交流・物流ネットワークの整備・充実 | <ul style="list-style-type: none"> ● 荷主企業奨励金制度等を活用した伏木富山港への集荷促進 ● 船社助成金等の活用や運航実験の実施等による伏木富山港の国際定期コンテナ航路の充実 |
| 海外ビジネスを担う人材の確保 | <ul style="list-style-type: none"> ● アセアン地域等からの優秀な留学生の受入・定着促進 ● 外国人留学生等と県内企業とのマッチングを図る合同企業説明会の開催 |



海外バイヤー招へい商談会の様子

| 県民参考指標 | | |
|--------------------------------|-----------------------|---------|
| 伏木富山港及び富山さときと空港における貿易額（輸出入額合計） | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 3,459億円 2011 (H23) | 3,080億円 2016 (H28) | 5,700億円 |

活力 10 雇用の確保と人材の育成

政策 意欲と能力に応じた多様な雇用の機会の確保と、本県産業の発展を支える人材の育成が図られ、誰もがいきいきと働いていること。

■ 主な施策

| | |
|--------------------------|--|
| U・Jターンの推進等による人材選流 | <ul style="list-style-type: none"> ● 富山くらし・しごと支援センターによるU・Jターンの求職者と企業のマッチング ● 就職支援協定の締結など、大学と連携した学生のU・Jターン、インターンシップ支援 |
| 県内産業の発展や新しい働き方の導入による雇用創出 | <ul style="list-style-type: none"> ● 新たな成長産業の育成や企業誘致等による、魅力ある職場の確保や新たな雇用機会の創出 |
| すべての人が活躍できる雇用環境の整備 | <ul style="list-style-type: none"> ● シニア専門人材バンクと連携した求職者の掘り起こしや企業における仕事の切り出し、潜在高齢求職者の雇用 |
| 人材ニーズの急速な変容に対応した人材育成 | <ul style="list-style-type: none"> ● 技術専門学院や民間教育訓練機関における職業訓練やオーダーメイド型の在職者訓練の実施 |



職業訓練の実施風景

| 県民参考指標 | | |
|---------------------|---------------------|---------|
| 就業者数 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 546千人 2010 (H22) | 539千人 2015 (H27) | 539千人以上 |

活力 11 意欲ある若い担い手の育成・確保と農業経営基盤の強化

政策 農地の集積による規模拡大など経営基盤の強化や、消費者ニーズに対応した収益性の高い園芸作物の産地化などが進展し、意欲ある担い手により、地域の特性を活かした収益性の高い農業が展開されていること。

■ 主な施策

| | |
|-------------------|---|
| 意欲ある若い担い手の育成・確保 | <ul style="list-style-type: none"> ● 「とやま農業未来カレッジ」の研修内容の充実や女性就農の促進 ● 農業次世代人材投資資金の交付 |
| 農地集積の促進や農業経営基盤の強化 | <ul style="list-style-type: none"> ● 農地中間管理機構を活用した農地集積の一層の促進 ● 経営基盤強化のための農業機械等の導入に対する支援 |
| 多様な園芸産地の育成 | <ul style="list-style-type: none"> ● 生産組織や大規模農業経営法人の機械・施設の整備への支援等による1億円産地づくりの加速化 ● 施設園芸や新技術導入等による経営規模等に応じた多様な園芸生産振興への支援 |
| 生産性の高い農業の確立 | <ul style="list-style-type: none"> ● 米政策の見直しに対応する需要に応じた作物生産への取組みなど地域戦略の実践への支援 ● 畜産生産基盤の整備に対する支援 |



とやま農業未来カレッジ研修生の作物実習

| 県民参考指標 | | |
|--------------------|--------------------|-------|
| 園芸産出額 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 86億円 2011 (H23) | 97億円 2016 (H28) | 140億円 |

活力 12 農業経営の効率化と高付加価値化の推進

政策 先端的な技術の開発・普及や農業生産基盤の整備により生産性が向上するとともに、農産物の付加価値を高める取組みの進展により農業所得が増大し、消費者ニーズに対応した安全で高品質な農産物が安定供給されていること。

■ 主な施策

| | |
|-------------------|--|
| 優良な農業生産基盤の確保 | <ul style="list-style-type: none"> ● 農業競争力強化のためのほ場の大区画化や汎用化整備の推進 ● 農業水利施設の機能保全・長寿命化対策の計画的推進 |
| 競争力を高める農業技術の開発と普及 | <ul style="list-style-type: none"> ● ニーズに対応した水稻などの新品種の開発・普及と、高品質な種子(種もみ)の生産体制の強化 ● ICT・ロボット技術の開発と実証・普及による「とやま型水田スマート農業」の推進 |
| 環境にやさしい農業の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ● エコファーマーや有機農業者の育成と環境に配慮した取組みの支援 ● 消費者とエコファーマー等との交流や連携の推進 |
| 農産物の高付加価値化の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ● 知識・技術の習得の支援や専門家の派遣等による6次産業化の取組みの促進 ● 農村女性が持つノウハウを活用した農産物加工品や直売等の起業活動への支援 |



ICTを活用した自動給水栓

| 県民参考指標 | | |
|--------------------|---------------------|-------|
| 6次産業化販売金額(加工・直売分野) | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 91億円 2012 (H24) | 107億円 2015 (H27) | 210億円 |

活力 13 食のとやまブランドの確立と地産地消、国内外の市場開拓

政策 おいしさや食文化など富山ならではの優れた食の魅力が広く認知され、消費者や実需者の支持のもと、そのニーズに応じて、
目標 県内や国内外での販路の開拓・拡大が進んでいること。

■ 主な施策

- | | |
|----------------------------------|--|
| 富山米新品種を中心とした「食のとやまブランド」の確立と認知度向上 | <ul style="list-style-type: none"> 富山米新品種「富富富」の生産・販売戦略の構築、市場評価の把握、P R活動の実施、ブランド化の推進 マーケットインの視点を取り入れた新たな食のとやまブランド戦略の策定と新たな分野での需要の開拓 |
| 首都圏市場などの国内市場の販路開拓 | <ul style="list-style-type: none"> 首都圏等の飲食店、量販店等と連携した季節に応じた食の魅力発信 県内外に向けた食材等の展示・商談会の開催 |
| 地産地消の推進等による県産農林水産物等の需要拡大 | <ul style="list-style-type: none"> 県産農林水産物等の高付加価値化への支援による需要拡大 県産品を優先的に購入する気運を醸成する「県産品購入ポイント制度」の実施 |
| とやまの農林水産物等の輸出促進 | <ul style="list-style-type: none"> 海外バイヤーを招へいた県内商談会の開催や海外見本市への出展支援など販路開拓機会の創出 |



「富富富」ロゴデザイン 「富富富」限定販売記念イベント

| 県民参考指標 | | |
|---------------------|---------------------|---------|
| 首都圏への野菜出荷量 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 100 t 2011 (H23) | 536 t 2016 (H28) | 1,500 t |

活力 14 森林の整備と林業の振興、県産材の活用促進

政策 地域林業の担い手により、持続可能な森林経営が行われているとともに、県産材が安定的に供給され、需要拡大が図られていること。
目標

■ 主な施策

- | | |
|-------------------------|--|
| 森林資源の循環利用と生産基盤の整備 | <ul style="list-style-type: none"> 計画的な主伐と優良無花粉スギ「立山 森の輝き」による再生林の推進 林道や作業道の開設と原木ストックヤードなどの林業生産基盤の整備 |
| 県産材の安定供給体制の整備と木材の需要拡大 | <ul style="list-style-type: none"> 木材加工流通施設整備への支援による需要者ニーズに対応した県産材製品の供給体制の整備 県産材を使用する住宅建設や公共施設の木造化・内装木質化への支援 |
| 林業事業体の経営基盤の強化と担い手の育成・確保 | <ul style="list-style-type: none"> 地域林業を担う林業事業体の経営基盤の強化 林業事業体の経営を担う人材の育成・確保 |



間伐を実施したスギ人工林

| 県民参考指標 | | |
|--------------------|--------------------|-------|
| 県産材素材生産量 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 63千㎡ 2011 (H23) | 97千㎡ 2016 (H28) | 140千㎡ |

活力 15 水産業の振興と富山湾のさかなのブランド力向上

政策 富山湾及びその周辺海域の多様な水産資源が持続的に利用され、豊かな食生活を支える安全で良質な水産物が供給されるとともに、富山湾のさかなのブランド力の向上により漁業経営が安定していること。
目標

■ 主な施策

- | | |
|---------------------|--|
| 持続可能な漁業の推進 | <ul style="list-style-type: none"> 新たな魚種の種苗生産技術の開発など、つくり育てる漁業の推進 良好な漁場環境の保全・創出や藻場の保全活動支援など、海の森づくりの推進 |
| 安全で良質な水産物の安定供給 | <ul style="list-style-type: none"> 鮮度保持対策の徹底による安全で良質な水産物の安定的な供給の支援 「浜の活力再生プラン」等に基づく水産物鮮度保持施設等の整備への支援 |
| 「富山のさかな」のブランド化と販路拡大 | <ul style="list-style-type: none"> 「富山のさかな」の海外向け情報発信 ブリ・シロエビ・ホタルイカ・高志の紅(アカ)ガニの一層のブランド化の推進と、各浜発のブランド魚育成への支援 |
| 担い手の育成・確保と経営基盤の強化 | <ul style="list-style-type: none"> とやま漁業担い手センターにおける求人・求職情報の提供、就業希望者への相談窓口の設置 漁業経営のための融資制度の充実 |
| 漁港の機能充実 | <ul style="list-style-type: none"> 漁港施設の機能強化や防災対策の強化 漁港施設の計画的な補修による長寿命化 |



県産ベニズワイガニ(高志の紅ガニ)

| 県民参考指標 | | |
|------------------------|------------------------|----------|
| 沿岸漁業の漁獲量 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 24,721トン 2011 (H23) | 22,700トン 2016 (H28) | 23,500トン |

活力 16 北陸新幹線の早期全線開業による新ゴールデンルートの形成

政策 北陸新幹線の大阪までの早期全線整備の促進により、北陸経由で首都圏と関西圏を結ぶ「新ゴールデンルート」の形成が進むと
目標 ともに、陸・海・空の交通基盤の整備により本県の拠点性が大きく高められ、人や物の交流が活発になっていること。

■ 主な施策

- | | |
|--------------------------------|---|
| 北陸新幹線の大阪までの早期全線整備の促進 | <ul style="list-style-type: none"> ● 金沢・敦賀間の2022年度末までの開業の確実な実現と早期開業に向けた整備促進 ● 敦賀・大阪間の北海道新幹線・札幌開業（2030年度末）頃までの早期全線整備の促進 |
| 本県の拠点性の向上につながる陸・海・空の交通基盤の整備の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ● 東海北陸自動車道の全線4車線化、能越自動車道の早期全線開通など高規格幹線道路網の整備 ● 国内外との航空ネットワークの維持・充実 ● 伏木富山港の岸壁・荷役機械・ターミナルなどの機能強化 |
| 国内外から人や物の流れを呼び込み定着させるための取組みの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ● 企業の本社機能移転や研究開発拠点の立地の促進、U I J ターンの推進 ● 富山暮らしの魅力発信による移住の促進 |



北陸新幹線

| 県民参考指標 | | |
|-------------------------|-------------------------|------------|
| 伏木富山港の外貿コンテナ取扱個数 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 68,261TEU 2011 (H23) | 70,036TEU 2016 (H28) | 110,000TEU |

活力 17 新幹線の開業効果の持続・深化と三駅を核とする広域交流等の促進

政策 観光客やビジネス客の大幅な増加など北陸新幹線の開業効果が持続・深化しているとともに、本県の玄関口である3つの新幹
目標 線駅を核として交通ネットワークが充実し、広域交流が活発になっていること。

■ 主な施策

- | | |
|-----------------------------|---|
| 新幹線開業効果の持続・深化 | <ul style="list-style-type: none"> ● 交通事業者、大手旅行会社等と連携したプロモーションの実施 ● 首都圏等における積極的な移住促進のための取組みの展開 |
| 首都圏等での情報発信 | <ul style="list-style-type: none"> ● 「日本橋とやま館」における本県の多彩な魅力の発信 |
| 新幹線駅とその周辺の活性化及びアクセス道路等の整備促進 | <ul style="list-style-type: none"> ● 富山駅周辺南北一体化を図る連続立体交差事業の推進 ● あいの風とやま鉄道富山駅高架下開発の推進 |
| 広域交通ネットワークの充実 | <ul style="list-style-type: none"> ● 新幹線駅・富山きとときと空港と観光地や交通拠点等を結ぶバス等の運行支援 |
| 北陸新幹線「新高岡駅」「黒部宇奈月温泉駅」の利用促進 | <ul style="list-style-type: none"> ● 地元市町村が行う駅利用促進に向けた取組みへの支援 ● ダイヤ改正にあたっての利便性向上に向けたJRへの働きかけ ● 各駅からの県内周遊を促進するためのプロモーションの実施 |



2016 (H28) 年4月13日 北陸新幹線ご乗車1,000万人達成セレモニー

| 県民参考指標 | | |
|-------------------------------|---------------------------------|-------|
| 北陸新幹線の乗車人員 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 314.2万人 2014 (H26) ※開業前 | 858.4万人 2016 (H28) ※開業2年目 | 860万人 |

活力 18 あいの風とやま鉄道の利便性の向上

政策 県内を東西に走る幹線鉄道であるあいの風とやま鉄道の経営の安定と利便性が確保され、将来にわたり、多くの県民の身近な
目標 生活路線として、通勤、通学等の交通手段が確保されていること。

■ 主な施策

- | | |
|----------------------|--|
| 経営安定への支援 | <ul style="list-style-type: none"> ● 富山県並行在来線経営安定基金による支援（運賃値上げの一定程度抑制、乗継割引、開業後約10年間の投資等） |
| 利便性の向上とマイレール意識醸成への支援 | <ul style="list-style-type: none"> ● 「あいの風とやま鉄道利用促進協議会」による経営の安定化、利便性の維持・向上、県民のマイレール意識の醸成の推進 ● 他の交通機関との接続利便性向上等に向けた連携協力 |
| 新駅設置と周辺まちづくり等への支援 | <ul style="list-style-type: none"> ● 高岡やぶなみ駅西側へのアクセス道路の整備 ● 「富山―東富山間」の新駅設置に係る詳細設計、設置事業への支援、新駅へのアクセス道路の整備 |



高岡―西高岡間新駅「高岡やぶなみ駅」
 (2018 (H30) 年3月17日開業)

| 県民参考指標 | | |
|----------------------|-----------------------|--------------|
| 1日当たりのあいの風とやま鉄道の利用者数 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| — | 40,338人 2016 (H28) | 現況の 80%以上 |

活力 19 高速道路、幹線道路から生活道路までの道路ネットワークの整備

**政策
目標**

高速道路から身近な生活道路に至るまで、安全で快適な道路ネットワークが形成され、人、モノの交流が活発になっていること。

■ 主な施策

高速道路ネットワーク等の整備と活用

- 東海北陸自動車道の付加車線の速やかな設置及び全線4車線化や、能越自動車道の利便性向上と早期全線開通
- 上市スマートIC（仮称）や城端SAスマートIC（仮称）等の追加ICの設置

地域の活力を育む幹線道路や身近な生活道路の整備

- 新幹線駅・港湾、主要観光地へのアクセス道路の整備
- 通学路等における安全な歩行空間・自転車走行空間の確保や歩道のバリアフリー化の推進

既存道路施設の長寿命化や災害に強い道路ネットワークの形成

- 橋梁の長寿命化によるライフサイクルコストの縮減及び修繕・更新費用の平準化
- 落石・崩壊等に対する道路施設の防災対策の推進



広域的な交流を促進する能越自動車道（七尾氷見道路）
提供：国土交通省北陸地方整備局

県民参考指標

東海北陸自動車道の飛騨清見IC～小矢部砺波JCT間の4車線化整備延長

| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
|---------------------|---------------------|-------|
| 4.7km 2011 (H23) | 4.7km 2016 (H28) | 増加させる |

活力 20 日本海側総合的拠点港としての伏木富山港の機能強化

**政策
目標**

環日本海地域やアジアの交流・物流拠点として、港湾機能やネットワークの充実が図られ、国内外との人、モノの交流が活発になっていること。

■ 主な施策

港湾機能の充実

- 国際物流ターミナルにおける大型船舶に対応した施設整備
- 国際物流ターミナル機能の拡充・高度化やさらなる国際化による他港との差別化

環日本海地域やアジアとの物流の活性化

- 荷主企業奨励金制度等を活用した集荷促進
- 船社助成金等の活用による国際定期コンテナ航路の充実
- ロシア定期コンテナ航路を活用する新規荷主の開拓

クルーズの振興

- 大型クルーズ客船に対応した施設の整備
- クルーズ船社、旅行会社等への誘致活動や助成の充実

港の賑わいづくり

- 海王丸パークの機能充実
- 新湊マリーナの機能拡充
- 賑わいのあるウォーターフロントの創出



伏木富山港（伏木地区） 大型クルーズ客船の寄港

県民参考指標

伏木富山港へのクルーズ客船の寄港回数

| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
|------------------|------------------|------|
| 5回 2011 (H23) | 5回 2016 (H28) | 20回 |

活力 21 国内外との航空ネットワークの維持・充実と空港の活性化

**政策
目標**

環日本海地域やアジアの交流・物流拠点として、空港機能や航空ネットワークの充実が図られ、国内外との交流が活発になっているとともに、富山きときと空港が地域の拠点として賑わっていること。

■ 主な施策

国内航空ネットワークの維持・充実

- 積極的な利用促進策の推進による羽田便の路線安定化・充実
- 西日本方面への新規路線開拓に向けたチャーター便運航への支援

国際路線の維持・充実

- エアポートセールスの実施や、飛騨・信越地域との連携による県内外での富山きときと空港の利便性PRの推進
- 環日本海・アジア地域を対象とした、新たな国際定期便・チャーター便の調査・研究

空港の利便性の向上や活性化

- 地元、空港内テナント等と連携したイベント開催など空港の賑わい創出
- 空港へのアクセスの改善や駐車場の利便性向上

空港施設等の適切な維持管理と計画的な更新

- 滑走路、誘導路等の空港施設の更新
- 空港の運営に必要な車両の適切な維持管理と計画的な更新



一級河川神通川の河川敷に展開する富山きときと空港

県民参考指標

富山きときと空港国内・国際線(チャーター便含む)利用者数

| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
|---|--|--|
| 880,526人 (国内線) 804,780人 (国際線) 75,746人 2011 (H23) | 564,715人 (国内線) 461,695人 (国際線) 103,020人 2016 (H28) | 620,000人 (国内線) 500,000人 (国際線) 120,000人 |

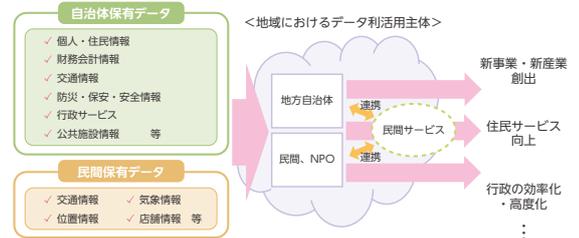
活力 22 行政情報のオープンデータ化とWi-Fi環境等の整備促進

政策 県の持つ統計データ等の情報がオープンデータ化され、民間との連携により地域課題の解決が図られるとともに、Wi-Fi環境や超高速ブロードバンドの整備が進められ、防災・観光情報の提供や教育分野においてICTが積極的に活用されていること。

■ 主な施策

- 新技術の導入による行政サービスの効率化、県が持つ情報等のオープンデータ化**
 - 県・市町村・民間団体による共同利用型オープンデータポータルサイトの充実・運用
 - 自治体クラウド（複数団体共同でのクラウド化）の推進
- ICTの利活用の推進、マイナンバーカードの利活用の推進**
 - 災害情報共有システム（Lアラート）と総合防災情報システムの連携による、多様なメディアを通じた迅速な災害情報の配信
 - マイナンバーカードの多目的利用の推進及び利活用の普及・啓発
- Wi-Fi環境や超高速ブロードバンド（上下100Mbps以上）の整備促進**
 - 観光拠点等におけるTOYAMA Free Wi-Fiの整備促進及び普及のための周知広報の取組み
 - 光ファイバーによる超高速ブロードバンド（上下100Mbps以上）の全県的整備の促進

地域におけるデータ利活用の全体像



資料：「地域IoT実装推進タスクフォース 地域資源活用分科会（第1回）」資料（総務省）
 (http://www.soumu.go.jp/main_content/000444182.pdf) を加工して作成

| 県民参考指標 | | |
|-------------------------|-------------------|-------|
| 県がオープンデータとして公開しているデータの数 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| — | 870 2017 (H29) | 1,200 |

活力 23 選ばれ続ける観光地づくりー海のあるスイスを目指してー

政策 魅力的な観光地域づくりが進み、交通ネットワークや富山らしい体験メニューの充実で旅行者の満足度が向上し、国内外の旅行者が繰り返し訪れ滞在していること。

■ 主な施策

- 戦略的な観光地域づくり**
 - 官民一体となった戦略的な観光地域づくりのさらなる推進
- 広域観光の拠点化**
 - 新幹線駅等における観光案内所の機能充実
 - 主要駅・空港と観光地を結ぶ二次交通の整備・利便性向上
- 富山らしい魅力の創出**
 - 「世界遺産五箇山」「立山黒部」等における観光の質を高める取組みの継続的な推進
 - 「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟した「富山湾」を素材とした観光商品化や高付加価値化の推進
- 戦略的なプロモーション**
 - ブランド価値を活かしたプロモーションと、「海のあるスイス」の観光ブランドの醸成
 - 交通事業者・大手旅行会社、近隣自治体等と連携したプロモーションの実施



多言語に対応した観光案内所

| 県民参考指標 | | |
|-----------------------|-----------------------|---------|
| 観光消費額 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 1,035億円 2012 (H24) | 1,448億円 2016 (H28) | 2,200億円 |

活力 24 うるおいのあるまちづくりと中心市街地の賑わいの創出

政策 地域の個性を活かした魅力的なまち・うるおいのあるまちが形成されているとともに、中心市街地に多様な都市機能が集積され、賑わいが創出されていること。

■ 主な施策

- 地域の個性を活かした魅力あるまちづくり**
 - 地域資源を活かした住民主体のまちづくりや市町村が実施する先導的なまちづくり事業への支援など、个性的で美しいまちづくりの推進
- うるおいのある水辺空間の創出**
 - 富岩運河環水公園でのイベント開催、富山県美術館での展覧会やワークショップ等の開催による賑わいの創出
 - 「富岩水上ライン」の運航による賑わいの創出
- まちなか居住など中心市街地への都市機能の集積**
 - 居住、商業、業務機能の集積や学校、文化、福祉施設などの中心市街地への立地促進
 - 多様な土地利用制度の活用による都市機能の集積・再配置の促進
- 地域交通ネットワークの充実と公共交通利用者の支援及び広域的な観点からのまちづくりの推進**
 - 地域公共交通の維持・活性化と相互の接続利便性の向上による地域公共交通ネットワークの充実
 - 広域交通ネットワークを活かした広域的な観点からのまちづくりの推進



富岩運河環水公園では花火やライブコンサート等を中心とした誘客力のあるイベントを開催

| 県民参考指標 | | |
|--------------------------------------|--|----------------------------|
| 中心市街地の歩行者通行量 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 富山市 — 人 高岡市 10,972人 2010 (H22) | 富山市 44,374人 高岡市 16,670人 2015 (H27) | 富山市 46,000人 高岡市 17,670人 |

活力 25 国際的ブランド「世界で最も美しい富山湾」の活用と保全

政策 県民総ぐるみによる「世界で最も美しい富山湾」の活用と保全の取組みが活発化し、富山湾の多彩な魅力がさらに高く評価され、
目標 国内外からの多くの人で賑わっていること。

■ 主な施策

| | |
|-----------------|--|
| 富山湾の保全の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ● 県民、事業者、民間団体等との連携・協働による海岸等の清掃美化活動の推進 ● 県民参加による豊かな森づくりと海づくりの連携の推進 |
| 富山湾の魅力のブラッシュアップ | <ul style="list-style-type: none"> ● 自転車専用道路の整備など湾岸サイクリング環境の充実 ● モニターツアーやレンタル艇の導入等による新湊マリーナへの県外船舶オーナーの誘致促進 |
| 産業振興への活用 | <ul style="list-style-type: none"> ● 官民連携による「富山湾」を冠した事業実施や商品・サービスの創出 ● 海洋深層水関連産業の振興と「富山湾の深層水」ブランドの確立 |
| 富山湾の魅力の戦略的な情報発信 | <ul style="list-style-type: none"> ● 「世界で最も美しい湾クラブ」のネットワークや国内の加盟湾と連携した情報発信の推進 ● 専門雑誌、インバウンドメディアなど、ターゲットを絞ったPRの推進 |



「世界で最も美しい湾クラブ」加盟記念モニュメント

| 県民参考指標 | | |
|---------------------------------|----------------------|--------|
| 富山湾岸サイクリングコースのレンタルサイクル利用者数(延べ数) | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 2,108人 2012 (H24) | 4,115人 2016 (H28) | 8,000人 |

活力 26 「立山黒部」の世界ブランド化と戦略的な国際観光の推進

政策 「立山黒部」の自然や歴史・文化といった多種多様な「本物の価値・魅力」を世界中の旅行者に提供し、「立山黒部」が世界ブランドとして広く認識されていること。また、本県の観光の魅力が国際的に認識され、国内外から「選ばれ続ける観光地」として、
目標 年間を通じて、海外の様々な国・地域から、多くの観光客が訪れていること。

■ 主な施策

| | |
|--------------------------------|--|
| 「立山黒部」の世界ブランド化に向けたプロジェクトの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ● 「立山黒部」の世界ブランド化に向けたプロジェクトの推進（黒部ルート見学会の一般開放・旅行商品化、滞在プログラムの充実、ロープウェイの整備、登山道の整備など） |
| 広域的な観光周遊ルートの開発・形成など戦略的な国際観光の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ● 広域的な観光周遊ルートの開発・形成の促進 ● 欧米・東アジア・東南アジアを対象とした旅行会社・メディア等の招へい事業や現地プロモーションの実施 |
| 国際会議や大規模コンベンションの誘致 | <ul style="list-style-type: none"> ● 国際会議等のユニークベニューとしての活用に向けた県有文化施設のブラッシュアップ ● 立山黒部アルペンルートや世界遺産五箇山合掌造り集落などの観光資源をエクスカーションコースとして提案 |



雪の大谷(春)

| 県民参考指標 | | |
|-----------------------|------------------------|----------|
| 立山黒部アルペンルートへの外国人観光客数 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 54,357人 2011 (H23) | 241,900人 2016 (H28) | 420,000人 |

活力 27 産業観光をはじめとした多彩なツーリズムの展開

政策 ものづくり県の強みや歴史ある伝統工芸の魅力を活かした産業観光をはじめ、映画・ドラマの制作誘致とロケ地めぐり、スポーツ、歴史・芸術文化など旅行者の多様なニーズに応えた多彩なツーリズムが展開されていること。

■ 主な施策

| | |
|--------------------------------|--|
| 産業観光の振興 | <ul style="list-style-type: none"> ● 産業観光の受入環境の整備・充実促進 ● 体験可能施設や滞在型施設の積極的な情報発信による体験型産業観光の促進 |
| 映画・ドラマ等の制作誘致とロケツーリズムの促進 | <ul style="list-style-type: none"> ● 富山県ロケーションオフィス(TLO)を中心に、関係者が連携した映画・ドラマなどの制作誘致及び支援の推進 ● ロケ地マップの制作等による、富山の魅力発信やロケ地めぐりの促進 |
| スポーツツーリズム、美術館・博物館めぐり、教育旅行などの促進 | <ul style="list-style-type: none"> ● スポーツを楽しむ環境整備の促進や観光商品化の働きかけ ● 歴史・芸術文化の観光資源としての活用促進 ● 自然を活かした体験メニューの充実と観光商品化の働きかけ ● 素材やコースの開発、旅行会社等への働きかけによる教育旅行の誘致 |



映画「人生の約束」のロケの様

| 県民参考指標 | | |
|---------|---------------------|-------|
| 産業観光施設数 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| - | 144施設 2017 (H29) | 171施設 |

活力 28 観光人材の育成とおもてなしの心の醸成

政策 国内外の旅行者への質の高いサービスの提供や、観光素材の発掘・磨き上げができる人材が充実していること。また、県民の
目標 一人ひとりに、旅行者を温かく迎えるおもてなしの心や、ふるさとの魅力を再発見しアピールする気運が醸成されていること。

■ 主な施策

| | |
|--------------------------|---|
| 地域の観光を担う人づくり | <ul style="list-style-type: none"> とやま観光未来創造塾における観光ガイドや観光地域づくりを担う人材等の育成 |
| グローバル化に対応した次世代の観光を担う人づくり | <ul style="list-style-type: none"> 外国人旅行者を対象とした着地型観光事業の立ち上げに必要な知識・技術を習得させる研修の実施 外国人旅行者に対応できる高度なガイドング技術を身に着けた人材の育成 |
| おもてなしの心の醸成 | <ul style="list-style-type: none"> 旅行者を温かくお迎えするおもてなし気運の醸成 地域の歴史・風土を理解するための、郷土史学習などのふるさと教育の推進 |



とやま観光未来創造塾 認定ガイド実技試験

| 県民参考指標 | | |
|-------------------|-------------------|------|
| とやま観光未来創造塾の認定ガイド数 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 11人 2011 (H23) | 77人 2016 (H28) | 177人 |

活力 29 豊かな食の磨き上げと発信

政策 本県の豊かな海の幸・山の幸や郷土料理のさらなる磨き上げと、県産食材を活用した魅力ある料理店・レストラン等の国内外
目標 への情報発信がなされており、多くの観光客が繰り返し訪れていること。

■ 主な施策

| | |
|-----------------------|--|
| 地域と連携した豊かな食の磨き上げ・発信 | <ul style="list-style-type: none"> 食の磨き上げによる観光資源の掘り起こし 旅行者に訴求する土産品の開発促進 |
| 食や食文化のブランドイメージの向上・定着 | <ul style="list-style-type: none"> 食文化交流イベントの開催などによる富山の新鮮で多彩な食材の魅力発信 新鮮で多彩な食材や豊かで洗練された食文化のブランドイメージの向上、定着 |
| 「食」をキーコンテンツとした観光誘客の促進 | <ul style="list-style-type: none"> 「富山湾鮭」など食の魅力を中心にコンテンツとした旅行商品の造成・販売および旅行会社による商品化の働きかけ 県内の魅力ある料理店・レストラン等について、国内外へ情報発信 |



天然の生け簀 富山湾鮭

| 県民参考指標 | | |
|---------------------|---------------------|-------|
| 旅行者の食べ物・料理満足度 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 74.3% 2011 (H23) | 78.2% 2016 (H28) | 80%以上 |

活力 30 富山のブランドカアアップに向けた戦略的展開

政策 富山ならではの優れた産品や食の魅力が、「とやまブランド」として広く認知され、評価が高まっているとともに、地域のイメージや好感度が向上していること。

■ 主な施策

| | |
|--------------------------------------|---|
| 富山を代表するブランドの浸透と価値の向上 | <ul style="list-style-type: none"> 「富山県推奨とやまブランド」の魅力の国内外への発信とさらなるブランド力強化への支援 |
| ブランド化に向けた新たな産品の育成 | <ul style="list-style-type: none"> 新たな「とやまブランド」の育成とブランド力向上に向けた支援 「富山プロダクツ」に選定された県内製品の幅広いPR・販売促進の支援 |
| 「日本橋とやま館」における富山の上質なライフスタイルの積極的・戦略的発信 | <ul style="list-style-type: none"> 年間を通じたイベントの開催や、有楽町「いきいき富山館」との連携による富山の多彩な魅力の首都圏に向けた発信 来館者数や会員の増加を図り、より多くの方が富山の魅力に触れる機会を提供 |
| 情報発信による富山の地域イメージの定着・向上 | <ul style="list-style-type: none"> 富山ならではの産品の背景にある、自然、歴史、文化等のストーリーの情報発信 |



日本橋とやま館

| 県民参考指標 | | |
|---------------------|--------------------|------|
| 「富山県推奨とやまブランド」の認定件数 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 11品目 2011 (H23) | 14品目 2016 (H28) | 24品目 |

未来 1 出会いから結婚、妊娠、出産までの切れ目のない支援の推進

政策目標 結婚を希望する人が結婚し、子どもを持ちたいと願うすべての人が、安心して妊娠・出産ができる社会が実現していること。

■ 主な施策

- 結婚を希望する男女のサポートの充実及び気運の醸成**
 - とやまマリッジサポートセンターによる男女の出会いの場や結婚支援情報の提供
 - 若者へ結婚や家庭を持つ意義や喜びを伝える取組みの推進
- いのちの尊さを学ぶライフプラン教育の推進**
 - 生徒の発達の段階に応じたライフプラン教育の実施
 - 大学生による、同世代や高校生に向けたライフプランに関する啓発や相談の実施
- 周産期保健医療体制の整備**
 - 総合周産期母子医療センターを中心としたNICUやMFICUなどの整備
 - 周産期医療関連施設と厚生センター（保健所）や市町村との連携の推進
- 母と子の健康づくりへの支援**
 - 子どもの健やかな成長のための母と子の健康管理への支援
 - 女性健康相談センター等による、安全・安心な妊娠・出産支援体制の整備



高校生の乳幼児とのふれあい体験

| 県民参考指標 | | |
|--------------------|--------------------|--------------------------|
| 合計特殊出生率 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 1.37 2011 (H23) | 1.50 2016 (H28) | 県民の希望出生率1.9 に向けて上昇させる |

未来 2 保育サービスの拡充など積極的な子育て支援等の展開

政策目標 家庭や地域において、安心して子どもを生き育てられる環境が整備されるとともに、社会全体で子育てを支える気運の醸成が図られていること。

■ 主な施策

- 多様な保育サービスや放課後児童クラブの拡充**
 - 延長保育、休日保育など特別保育の充実への支援
 - 病児・病後児保育の体制整備や運営支援
 - 放課後児童クラブの開設日数や開設時間の延長への支援
- 子育て情報の提供や相談機能の充実**
 - 地域子育て支援センターの設置促進や利用者支援事業の推進
 - 「とみいくフレフレ」や「子育てネッ! とやま」等ホームページの内容充実
- 地域住民による子育て支援の促進**
 - ファミリー・サポート・センターやとやまっ子さんさん広場の運営支援
 - 地域の子育て支援人材を養成する研修の実施
- 社会全体での子育て支援の気運醸成**
 - とやま子育て応援団の協賛店拡大と利用促進
 - とやま県民家庭の日の推進など、明るく楽しい家庭づくりに向けた社会的気運の醸成



放課後児童クラブ

| 県民参考指標 | | |
|---------------------|---------------------|-------|
| 放課後児童クラブ数 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 209か所 2011 (H23) | 253か所 2016 (H28) | 279か所 |

未来 3 仕事と子育てを両立できる職場環境づくり

政策目標 仕事と子育てを両立できる職場環境の整備や県民の意識醸成が図られ、男女共に、積極的に子育てに関わっていること。

■ 主な施策

- 仕事と子育てを両立できる職場環境の整備**
 - 仕事と子育て両立支援推進員による一般事業主行動計画の策定及び取組みへの支援
 - 事業所内保育施設の設置・運営に係る助成など、職場環境の整備への支援
- 事業主への意識啓発の推進**
 - 企業経営者の子育て応援宣言や行動計画の公表など実効性のある取組みの促進
 - 優れた取組みを行っている企業の顕彰、優良事例の他企業への普及啓発など、働きやすい職場環境・風土づくりの推進
- 男性の家事・育児への参画の促進**
 - 各種講座等の開催による男性の子育て参画の促進
 - 男性が主体的に家事・育児に参画するための気運醸成や県民への意識啓発の促進



イクメン・カジダン養成出前講座

| 県民参考指標 | | |
|---|----------------------------------|--------------------|
| 次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画を策定・届出済みの県内企業（うち従業員100人以下の企業数） | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 1,559社 (1,049社) 2011 (H23) | 1,891社 (1,343社) 2016 (H28) | 2,300社 (1,750社) |

未来 4 子育て家庭などの経済的負担の軽減

政策目標 経済的な環境にかかわらず、子どもを持ち育てたいと思う県民一人ひとりの希望を実現するための取組みが推進されていること。

主な施策

| | |
|----------------------|---|
| 子育て家庭のニーズにマッチした支援の推進 | <ul style="list-style-type: none"> 子育て支援・少子化対策県民会議における今後の支援策の検討を踏まえた支援の推進 |
| 出産、保健、医療等に要する費用負担の軽減 | <ul style="list-style-type: none"> 不妊治療や不育症治療費の助成 妊産婦・乳幼児・ひとり親家庭等にかかる医療費助成 子育て応援券による保育・保健サービス利用の充実 |
| 多子世帯等の経済的負担の軽減 | <ul style="list-style-type: none"> 市町村と連携した保育所や幼稚園の保育料の軽減制度の拡充 多子世帯の電気料金負担に対する支援 |
| 就学にかかる経費負担の軽減 | <ul style="list-style-type: none"> 経済的理由により就学が困難な学生・生徒に対する無利子奨学金の貸与 私立高校について、就学支援金（国制度）に加え、授業料や入学料の減免補助の上乗せ実施 |



とやまっ子 子育て応援券

| 県民参考指標 | | |
|-------------------------------------|---------------------|-------|
| 子どもを増やすに当たっての課題として、「経済的な負担」を挙げる人の割合 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 74.8% 2013 (H25) | 70.2% 2017 (H29) | 低下させる |

未来 5 子どもの健やかな成長支援

政策目標 子どもたちが、虐待・いじめなどの人権侵害を受けることなく、健やかに成長しているとともに、学校・家庭・地域の連携・協力のもと、学び・遊び・体験活動等を通じ心身の豊かさ・たくましさを育てていること。

主な施策

| | |
|----------------|--|
| 子どもの権利と利益の尊重 | <ul style="list-style-type: none"> 相談体制の確保や専門職員の配置による児童相談所の機能強化 児童虐待やいじめ等を早期に発見・対応するための体制整備 |
| 地域で子どもを育む環境づくり | <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの学習・遊び・体験活動や地域住民との交流活動などの取組みの推進 登下校時における児童生徒の見守り活動など、地域で子どもを守り育てる活動の推進 |
| 子どもの健全な育成 | <ul style="list-style-type: none"> スマートフォンやSNSなどの適切な利用方法と、情報モラルを学ぶ教育の充実 |
| 家庭的養護の推進 | <ul style="list-style-type: none"> 里親制度の普及啓発や里親登録者に対する研修の実施等による里親の育成 児童養護施設の小規模グループケア化に対する支援、グループホーム整備への支援 |



公民館を拠点としたふるさと学習：りんごの摘果作業

| 県民参考指標 | | |
|------------------------------------|------------------------------------|----------------------------|
| 子どもの地域活動体験率 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 小6 78.9% 中3 48.3% 2012 (H24) | 小6 82.2% 中3 55.1% 2016 (H28) | 小6 85%以上を維持 中3 60%以上を維持 |

未来 6 少人数指導と少人数学級の組合せ等による充実した教育の推進

政策目標 様々なニーズに対応した教育環境の整備が進められ、魅力ある質の高い教育が行われていること。

主な施策

| | |
|-------------------------|--|
| 少人数教育の推進 | <ul style="list-style-type: none"> 少人数指導と少人数学級の推進 |
| 新たな教育課題への対応と特徴ある教育環境の整備 | <ul style="list-style-type: none"> 英語や理科等の専科教員の配置を拡充し、学校の実情に応じた専科指導を実施 高校生の海外留学・派遣を支援 |
| 校種間連携の推進 | <ul style="list-style-type: none"> 小1プロブレム等の解消に向けた、指導者の合同研修会の実施や保護者支援リーフレットの配付 中1ギャップの緩和や英語の教科化に向けた、小中合同研修会や中学校英語教員による出前授業等の実施 |
| 魅力と活力ある学校づくり | <ul style="list-style-type: none"> 高校教育を充実する県立高校の再編の推進 機器の配備を含めた計画的なICT環境の整備 |



高校生の海外研修

| 県民参考指標 | | |
|---------------------|---------------------|------|
| 幼稚園・保育所・小学校合同研修会参加率 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 34.3% 2011 (H23) | 54.6% 2016 (H28) | 60% |

未来 7 一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実

政策 小学校入学前から高校卒業後までの、切れ目のない一貫した支援体制の整備により、障害のある子ども一人ひとりの自立と社会参加の実現が図られていること。

主な施策

| | |
|---------------------------------|---|
| 特別な教育的ニーズのある子どもへの「多様な学びの場」の提供 | <ul style="list-style-type: none"> ● 個別的教育支援計画の作成 ● 家庭や地域、専門家や支援団体等と関係機関等との連携などによる、特別支援学校における社会に開かれた教育課程の実施 |
| 障害のある子どもに合った指導法等の検討と適切な合理的配慮の提供 | <ul style="list-style-type: none"> ● 障害のある子どもの学習や就労を支援する体制の整備・充実 ● 専門的な指導助言を行う指導員の巡回など、質の高い適切な合理的配慮の提供 |
| 教員の指導力向上 | ● 特別支援教育担当教員の指導力の向上と、免許状保有率の向上に向けた取組みの推進 |
| 高等特別支援学校等での就労支援の充実 | ● 高等特別支援学校等での障害の状態に応じた就労支援の充実 |



企業における就業体験

| 県民参考指標 | | |
|----------------------------------|--|--------------|
| 【個別の指導計画】の作成率 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 幼 92.5% 中 96.1% 2011 (H23) | 幼 89.3% 小 100% 中 100% 高 81.3% 2016 (H28) | すべての学校(園)で作成 |

未来 8 いじめ・不登校対策と人権を大切にできる心の育成

政策 いじめ・不登校の未然防止や早期発見・早期対応のための教育相談体制が充実されているとともに、学校と家庭、地域等が一体となって、いのちを大切にできる心と人権を尊重する心を育む取組みが行われていること。

主な施策

| | |
|----------------------|--|
| いじめ・不登校に対する教育相談体制の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ● いじめ・不登校の未然防止、早期発見・早期対応のための相談体制の一層の充実 ● 24時間体制で応じる電話相談体制の整備・充実 |
| いのちを大切にできる心を育む教育の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ● いのちの大切さを学ぶ機会の充実 ● 学校と家庭・地域との連携によるいのちの教育の普及 |
| ネットトラブルの防止対策の推進 | ● 「学校ネットルールづくり」の取組みによるネットの適正利用の推進 |
| 人権啓発活動等の推進 | ● イベントやメディアを活用した効果的な人権啓発 |
| 教職員の人権意識の向上 | ● 教職員を対象に人権教育研修会等の実施による人権意識の向上 |



ヒューマンコミュニケーションフェスタ・イン・とやま2017

| 県民参考指標 | | |
|--------------|----------------------|----------|
| 人権に係る研修の参加者数 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| — | 3,069人 2016 (H28) | 3,300人以上 |

未来 9 子どもの可能性を伸ばす教育の推進

政策 子どもたちが、知識・技能を身につけるとともに、それを基盤としながら、自らの可能性を發揮して、未来を切り拓いていく力を育む教育が行われていること。

主な施策

| | |
|----------------|---|
| 確かな学力の育成 | <ul style="list-style-type: none"> ● 科学的才能や論理的思考力などを伸ばす教育の推進 ● 「高校生のためのふるさと富山」や富山を英語で表現する英語教材を活用した教育の充実 |
| 社会で生きる実践的な力の育成 | <ul style="list-style-type: none"> ● 「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」など、規範意識や社会性を育む教育の充実 ● 職業観や勤労観を育む教育の推進 |
| 教員の資質向上 | <ul style="list-style-type: none"> ● 教員の計画的な採用と採用者数の平準化 ● 外部人材の活用や教員が児童生徒と向き合いやすい環境整備の推進 |
| 私立学校教育の振興 | <ul style="list-style-type: none"> ● 創意と工夫を凝らした特色ある教育に対する支援 ● 幼児教育に係る保護者の負担軽減や高校生等への授業料減免等の修学支援 |



とやま型学力向上総合支援事業(グループでの話し合い活動)

| 県民参考指標 | | |
|---------------------|---------------------|-------|
| 授業が分かると答える生徒の割合 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 64.5% 2011 (H23) | 65.4% 2016 (H28) | 増加させる |

未来 10 家庭・地域の教育力の向上

政策 子どもたちが学校、家庭、地域の連携・協力のもと、安全・安心な環境の中で、基本的な生活習慣や社会性を身につけ、豊かな人間性を育み、健やかに成長していること。

主な施策

- | | |
|--------------------|--|
| 社会全体で子どもを育む教育環境づくり | <ul style="list-style-type: none"> 市町村が実施する地域コーディネーターの養成への支援 「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」など、家庭、地域、企業で規範意識や社会性を育む教育の充実 |
| 豊かな心を育む地域の教育力の充実 | <ul style="list-style-type: none"> 放課後子ども教室等の推進 ふるさとの学びや身近な自然体験活動の推進 |
| 家庭の教育力の向上 | <ul style="list-style-type: none"> 「親学び講座」の充実・推進 企業における家庭教育講座の開催 子どもの自主的な読書活動の推進 |
| 児童等の安全の確保 | <ul style="list-style-type: none"> 学校、家庭、地域等が連携して子どもたちの安全を確保する取組みへの支援 教育・安全情報のリアルタイム共有システムによる不審者情報等の共有化の推進 |



保育園での「親学び講座」

| 県民参考指標 | | |
|--------------------------------|---------------------|-------|
| 子どもの教育において、家庭が役割を果たしていると思う人の割合 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 36.3% 2012 (H24) | 36.1% 2016 (H28) | 増加させる |

未来 11 大学教育の振興とコンソーシアム等の活性化

政策 大学等の高等教育機関を中核として、個性豊かで創造的な人材育成の拠点や国内外に発信する学術研究の拠点が形成されるとともに、高等教育機関と連携した地域振興の取組みが幅広く進められていること。

主な施策

- | | |
|----------------------------|---|
| 高等教育機関の教育研究体制の充実支援 | <ul style="list-style-type: none"> 地域ニーズに基づく学部等の設置による学術研究機能の強化など、高等教育機関の魅力向上への支援 大学コンソーシアム富山が実施する教育・学生支援や地域貢献活動の取組みへの支援 |
| 高等教育機関による地域連携や地方創生の取組みへの支援 | <ul style="list-style-type: none"> 県立大学の拡充など、県内からの志願者・入学者を増加させる取組みへの支援 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)などを活用した、人材育成や雇用創出・若者の県内定着などの地方創生の取組みへの支援 |
| 県と高等教育機関との連携強化 | <ul style="list-style-type: none"> 修学資金貸与の拡充による地域医療人材の確保や、医師及び看護職員の県内定着促進や育成への支援 |
| 高等教育機関の国際交流の促進 | <ul style="list-style-type: none"> 外国人留学生に対する奨学金支給等の支援 県内高等教育機関の学生の海外留学・海外研修への参加促進 |



地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+) 富山大学地域志向科目「富山学」弥陀ヶ原視察

| 県民参考指標 | | |
|-------------------------|-------------------|------|
| 県内高等教育機関における県内企業との共同研究数 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 115件 2011 (H23) | 95件 2016 (H28) | 120件 |

未来 12 県立大学における教育研究体制の充実と地域への貢献

政策 県立大学が、人間性豊かな創造力と実践力を兼ね備えた有為な人材を育成しているとともに、優れた教育研究の成果を地域や社会に還元し、科学技術の拠点として、学術文化の向上と社会の発展に寄与していること。

主な施策

- | | |
|---------------------------------|---|
| 県立大学の教育研究体制の充実支援 | <ul style="list-style-type: none"> 社会に有為な人材を輩出する教育研究の推進 工学と看護学の融合による特色ある教育研究に対する支援 |
| 最先端の研究や産学官連携の一層の推進 | <ul style="list-style-type: none"> 戦略的創造研究推進事業(E-RATO)など最先端の研究や持続可能な社会の実現に向けた研究開発などの取組みへの支援 産学官連携を一層促進し、イノベーションの創出につながる基盤的・先端的な研究に対する支援 |
| 県立大学の魅力発信や認知度向上、学生の県内定着の取組みへの支援 | <ul style="list-style-type: none"> 学生募集活動の強化への支援 学生の県内定着に向けた県内企業への就職促進の取組みへの支援 |



看護学部キャンパス完成イメージ

| 県民参考指標 | | |
|---------------------|---------------------|-------|
| 県立大学の県内企業等就職率 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 44.9% 2012 (H24) | 41.9% 2016 (H28) | 55%以上 |

未来 13 生涯にわたる多様な学びの推進

政策 すべての世代の県民が、それぞれの目的やニーズ、社会の新たな課題に応じて、学習の機会や場を選択して学び、その成果を
目標 地域で還元し、活躍の場が提供されていること。

主な施策

多様な学習活動の支援

- 県民生涯学習カレッジにおけるふるさと学習や地域の課題等をテーマとした講座の開設など、学習機会の提供
- 富山県美術館や高志の国文学館等を活用した学習機会の充実

県民の学習を支える基盤整備

- とやま学遊ネットによる学習情報、人材情報、公民館情報等の提供や発信支援
- 県民生涯学習カレッジにおける地域の担い手となる人材の育成や学習者の交流・活躍の場の提供

キャリアを磨く実践的な学びの推進

- 専修学校が行う実践的な職業教育や専門的な技術教育への支援
- 高等教育機関が行う社会人を対象としたリカレント教育への支援



ふるさとを学ぶ「ふるさと発見講座」

県民参考指標

1年間に生涯学習を行ったことがある人の割合

| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
|---------------------|---------------------|-------|
| 32.2% 2011 (H23) | 30.3% 2016 (H28) | 39%以上 |

未来 14 ふるさとを学び楽しむ環境づくり

政策 県民一人ひとりが、ふるさとの自然、歴史・文化、産業等について学び、理解を深めることにより、ふるさとへの誇りと愛着
目標 を育んでいること。

主な施策

学校におけるふるさと学習の推進

- 小中学校における、郷土学習教材を活用した、先人の偉業や夢、志などを学ぶ教育の推進
- 県立高校における、補助教材を用いた郷土史・日本史学習の実施

家庭、地域におけるふるさと学習の振興

- 「ふるさとの空」(富山県ふるさとの歌)の普及や「県民ふるさとの日記念式典」の実施など県民の連帯感の醸成
- 「県民ふるさと大賞」の実施などふるさとへの誇りや愛着を育む活動の顕彰

文学館などにおけるふるさと文学の振興

- 越中万葉から近・現代までの富山県ゆかりの文学の魅力の紹介
- ふるさと文学に親しみ、学ぶ機会や、深く調べ、発表し、創作する場の提供



高志の国文学館

県民参考指標

県内に自信をもって誇れるものがたくさんあると思う人の割合

| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
|---------------------|---------------------|-------|
| 28.2% 2011 (H23) | 21.0% 2016 (H28) | 29%以上 |

未来 15 県民が芸術文化と出会い、親しむ環境づくり

政策 県民一人ひとりが幅広く芸術文化活動と出会い、親しむ環境の整備により、優れた文化を鑑賞する機会などの充実が図られる
目標 とともに、県民自らが誇りとなる文化を知り、発信されていること。

主な施策

身近なところで優れた文化を鑑賞する機会の充実

- 幅広い芸術文化活動に参加できる県民芸術文化祭や、県美術展の開催等を支援
- 学校や福祉施設、公民館など身近なところでの優れた美術作品の巡回展示や出前公演を支援

次世代を担う子どもたちの文化に親しむ機会の充実

- 低年齢層から芸術に触れる機会の充実
- 県内小学生を対象とした「美術のおもしろさ」を体験してもらう取組みの推進

美術館を中心とした県民が芸術活動と出会い、親しむ場の創出

- 富山県美術館や富岩運河環水公園での若手芸術家の発表の場の提供
- プロムナード等を活用した若手芸術家などによる文化との出会いの場の創出



富山県美術館 (2017 (H29) 年8月26日 全面開館)

県民参考指標

県立文化ホールの利用率

| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
|---------------------|---------------------|------|
| 63.3% 2012 (H24) | 64.4% 2016 (H28) | 70% |

未来 16 県民が芸術文化の創造に参加し、交流する機会の充実

政策 目標

県民一人ひとりが幅広く芸術文化の創造活動に参加するとともに、文化を通じた交流が活発に行われていること。

■ 主な施策

- | | |
|-------------------------------------|---|
| 文化を通じた子どもたちの交流の促進 | <ul style="list-style-type: none"> とやま世界こども舞台芸術祭の開催など、県内での文化を通じた国際交流の推進 リングン世界こども演劇祭などの海外の国際大会への定期的な参加の促進 |
| アートとデザインをつなぎ、双方向の美術体験をする場としての富山県美術館 | <ul style="list-style-type: none"> 創作体験ができるアトリエやギャラリーの活用による双方向の美術体験の機会の充実 体験型鑑賞ツアーの実施など、双方向でアートやデザインを楽しむ機会の充実 |
| 県民が芸術文化の創造に参加し、交流できる場の拡充 | <ul style="list-style-type: none"> 一流作家によるワークショップの開催など、芸術文化の創造活動への参加の促進 富山県美術館でのアーティストによる公開制作など、多彩な交流機会の拡充 |
| 文化の次世代の担い手の育成 | <ul style="list-style-type: none"> 富山県美術館等県立文化施設を活用した若手芸術家の発表や展示の機会の提供 芸術文化指導者の招へいなどを通じた若手芸術家の育成 |



とやま世界こども舞台芸術祭2016
オープニング公演「雪の女王」

| 県民参考指標 | | |
|---------------------------|---------------------|------|
| 芸術文化に親しむ機会が充足されていると思う人の割合 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 37.5% 2012 (H24) | 37.7% 2016 (H28) | 50% |

未来 17 質の高い文化の創造と世界への発信

政策 目標

世界に誇れる質の高い芸術文化の創造や発信が行われ、世界中から芸術文化人が集う芸術文化の拠点の形成がされていること。

■ 主な施策

- | | |
|--|--|
| 国際的な視野を持つ、次世代を担う人材育成の推進 | <ul style="list-style-type: none"> 国内外の演劇人や芸術文化に高い関心を有する若者向けのトレーニング・プログラムの実施 国内外の若手演劇人と多国籍の演劇人との共同作業による舞台作品の創造 |
| 世界に誇れる質の高い文化の創造や世界各地とダイレクトにつながる国際的な文化交流の推進 | <ul style="list-style-type: none"> 「シアター・オリムピクス」、「利賀サマー・シーズン」、「世界ポスタートリエンナーレトヤマ」の開催など、特色ある国際的な芸術文化振興事業の充実と発信 民俗芸能をはじめとした多彩な伝統文化の発信 |
| 本県文化の魅力を生かして国内外に発信 | <ul style="list-style-type: none"> 本県工芸文化の魅力の国内外への発信、人材育成を推進する国際的な工芸アワードの実施 大伴家持文学賞の取組みなど、越中万葉の魅力等を世界へ発信 |



利賀サマー・シーズン
(鈴木忠志氏演出 劇団SCOT「世界の果てからこんにちは」)

| 県民参考指標 | | |
|--|--|------|
| 文化に関する国際交流事業数(派遣、招へいの計) | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 40件 (派遣 23件 招へい 17件) 2011 (H23) | 57件 (派遣 31件 招へい 26件) 2016 (H28) | 63件 |

未来 18 スポーツに親しむ環境づくりの推進

政策 目標

県民の誰もが、それぞれの興味、関心、適性に応じて、スポーツを「する、みる、支える」活動に参画し、主体的にスポーツを楽しんでいること。

■ 主な施策

- | | |
|-------------------------------|---|
| 県民がスポーツに親しむ環境づくり | <ul style="list-style-type: none"> 年齢や障害の有無等にかかわらず気軽にスポーツ活動に参加できる機会づくりの推進 幅広い県民が楽しめる文化スポーツ施設の整備等によるスポーツ環境の充実 |
| 子どものスポーツ機会の充実による運動習慣の定着と体力の向上 | <ul style="list-style-type: none"> 「元気っ子育成計画」や「みんなでチャレンジ3015」の継続による運動やスポーツに積極的に取り組む子どもの育成と体力向上の推進 地域のスポーツ人材活用による幼・保・小・中学校教員等の指導力向上と体育授業等の充実 |
| スポーツを支える人材の育成と活用 | <ul style="list-style-type: none"> 地域のスポーツ指導者の活用と資質の向上 地域スポーツの振興を支える人材の育成と資質の向上 |
| プロスポーツや企業と連携した地域の活性化 | <ul style="list-style-type: none"> ホームゲームでの県民参加型イベントなどの地域活性化事業に対する支援 企業と連携したスポーツ参画の取組みの推進やスポーツ環境の充実 |



富山マラソン

| 県民参考指標 | | |
|---------------------|---------------------|-------|
| 成人のスポーツ実施率 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 41.6% 2012 (H24) | 38.9% 2016 (H28) | 50%以上 |

未来 19 全国や世界の檜舞台で活躍する選手の育成

政策目標

ジュニア期からの発掘・育成・強化が進み、数多くの本県選手が全国や世界の檜舞台で活躍していること。

■ 主な施策

全国の檜舞台で活躍できる選手の育成

- ジュニア期からの個人の特性や発育発達段階に応じた一貫指導体制の推進
- 県民の注目度や関心の高い野球、サッカー、駅伝等の競技力の強化

世界レベルのトップアスリートの育成

- 年代別日本代表選手等の海外大会参加等への支援
- 次世代を担う選手たちの活躍が期待される競技への強化の推進

強化拠点の整備の推進と有効活用

- 競技力向上の中核拠点となる県総合体育センター及び県西部体育センターの整備と機能の充実
- スーパートレーナーの活用やスタッフの資質向上によるスポーツ医・科学的サポートの充実
- 全国的・国際的スポーツ大会やオリンピック事前合宿等の誘致



世界の檜舞台で活躍する本県のアスリート

| 県民参考指標 | | |
|------------------------|------------------|------|
| 国民体育大会等の全国大会における入賞等の件数 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 38 2011 (H23) | 45 2016 (H28) | 48以上 |

未来 20 多様なボランティア・NPO活動の推進

政策目標

ボランティアやNPOが幅広い人々の参加のもと、地域づくりや公共サービスの新たな担い手として、様々な分野において活発に活動し、活躍していること。

■ 主な施策

幅広い県民のボランティア活動の参加促進

- 児童生徒、学生のボランティア体験学習や中高年世代、勤労者等を対象としたセミナーの開催
- 災害救援ボランティア活動への参加促進

NPOの活動基盤の安定・強化

- 先駆的活動を行うNPOに対する助成や会計税務研修の実施、専門相談員の派遣など、マネジメント力の強化支援
- NPOが行う組織・財政基盤の充実を図る活動への支援

多様な主体が公共サービスを担うための協働事業の推進

- 地域づくりや公共サービスの提供に向けた、NPO、企業等による協働の取組みへの支援
- 県民、NPO、企業等の自発的、主体的な取組みの拡大と定着を図るための人材育成など、自立的活動への支援



生徒によるボランティア活動の様子

| 県民参考指標 | | |
|-----------------------|----------------------|--------|
| ボランティア活動者数(人口10万人当たり) | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 5,711人 2011 (H23) | 6,438人 2016 (H28) | 7,000人 |

未来 21 若者の自立促進と活躍の場の拡大

政策目標

すべての若者が社会的・職業的に自立し、企業や社会の一員として県内でいきいきと活躍していること。

■ 主な施策

若者の自立の総合的な支援

- 富山県子ども・若者支援地域協議会における関係機関の連携強化や市町村におけるネットワーク形成の促進
- 若者の就業支援や、勤務トレーニングの実施など就業、自立を総合的に支援する体制の強化

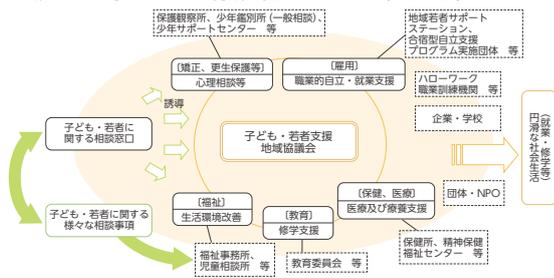
職業意識の早期形成を目指したキャリア教育

- 児童・生徒の発達段階に応じたキャリア教育の推進
- 高等教育機関における中・長期等の新たなインターンシップや、大学コンソーシアム富山が実施する合同企業訪問などへの支援

県内企業への就職の促進

- 県外学生のUターン就職を後押しする取組みや、県内での就職活動に必要な経費の支援
- 富山県へU・Jターン就職する理工系学生や6年制薬学部生の奨学金返還の助成

地域における子ども・若者育成支援ネットワーク(イメージ)



※地域協議会ごとに、地域ニーズ等に応じて関係機関等により構成

| 県民参考指標 | | |
|---------------------|---------------------|---------|
| 若者(15~34歳)の就業率 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 84.6% 2010 (H22) | 87.4% 2015 (H27) | 87.4%以上 |

未来 22 男女共同参画社会づくり

政策 男女が共に、個性と能力を十分に発揮する機会が確保されるとともに、経済・社会の活性化に向けてあらゆる分野で女性が活躍していること。

主な施策

性別による固定的役割分担意識の解消

- 男女共同参画推進員による地域における男女共同参画意識の啓発活動の推進
- 各種講座や研修の充実による性別による固定的役割分担意識の解消に向けた意識啓発

政策・方針決定過程への女性の参画の促進

- 審議会の要綱等における職務指定の緩和や関係団体からの積極的な女性の推薦などによる女性参画の促進
- 県的女性管理職登用の促進と職域の拡大

女性が能力を発揮し、あらゆる分野で活躍できる環境づくり

- 企業トップや役員クラスへの男女共同参画チーフ・オフィサー委嘱による事業所内の男女共同参画の推進
- 女性の登用や能力開発等に積極的な企業の顕彰や認証による他の企業への普及啓発



女と男のパートナー会議

| 県民参考指標 | | |
|---------------------|---------------------|----------------|
| 審議会等における女性委員の割合 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 38.5% 2011 (H23) | 37.3% 2016 (H28) | 40%以上 60%以下 |

未来 23 グローバル社会における地域づくり・人づくり

政策 外国人にとっても日本人にとっても暮らしやすい、多文化が共生する地域づくりが進んでいるとともに、環日本海地域やアジアをはじめとする各国地域との幅広い交流・協力のもと、グローバルに活躍する人材が集い、育っていること。

主な施策

多文化共生の地域づくり

- 多言語による生活情報の提供及び生活相談の充実
- 外国人児童生徒の学習をサポートする取組みの支援
- 外国人住民の地域参加の促進及び地域と外国人住民との橋渡し役となれる外国人キーパーソンの育成

グローバルに活躍する人材の積極的な受入れ・育成と活用

- アセアン地域等からの留学生の県内高等教育機関への受入・定着促進
- 優秀な外国人留学生の県内企業への就職支援
- JICA ボランティアへの参加促進を支援

多様な国際交流・協力活動への支援

- 友好提携先等との人的・経済的な交流の促進及びそれに関する情報の県民への提供
- 県民やNPO等による国際交流・協力活動への支援



青年海外協力隊員としてタイの小学校を訪問

| 県民参考指標 | | |
|--------------------|--------------------|------|
| 日本語ボランティア養成者数 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 402人 2011 (H23) | 499人 2016 (H28) | 700人 |

未来 24 「くらしたい国、富山」の発信による移住の促進

政策 富山の暮らしの魅力発信や首都圏をはじめとした大都市圏との交流人口の拡大、地域での受入れ体制の強化等により、本県への移住者が増加していること。

主な施策

「くらしたい国、富山」のイメージの発信強化・定着

- 首都圏・関西圏等における移住情報発信拠点の設置や定期的な移住相談会等の開催

都市との交流人口の拡大

- 農林漁業体験を通じた都市との交流への支援やNPO等と連携したグリーン・ツーリズムの推進

富山県の恵まれた就労環境の魅力のPR・暮らしと仕事の一元的な相談体制の充実

- 首都圏・関西圏等での仕事相談員の配置による暮らしと仕事の一元的な相談体制の充実
- 県内企業等と連携した本県の就労環境の魅力発信や県内企業等のPR

本県出身者への効果的な情報発信によるUターン促進

- 本県にゆかりのある社会人を対象とした移住・転職に関するイベント情報や富山暮らしの魅力の発信
- Uターン就職にかかる首都圏大学との取組み強化

地域における移住者受入れ体制の強化

- 「移住者受入モデル地域」の拡大・移住促進に向けた取組みの支援
- 「とやま移住応援団」の情報提供による制度の普及と利用の促進



首都圏での移住セミナー

| 県民参考指標 | | |
|--------------------|--------------------|--------|
| 県・市町村の相談窓口を通じた移住者数 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 306人 2011 (H23) | 565人 2016 (H28) | 1,000人 |

未来 25 自然や歴史・文化など地域の魅力のブラッシュアップと世界文化遺産登録の推進

政策 県内各地域において育まれてきた自然、歴史や伝統文化などの魅力を発掘、再発見するとともに、さらに磨き上げ、次の世代へ継承する活動が活発に行われていること。

主な施策

| | |
|------------------------------|---|
| 地域の魅力の発掘・再発見とその情報発信の促進 | <ul style="list-style-type: none"> 越中富山ふるさとチャレンジのPRや、富山県版図柄入りナンバープレートの周知など地域の魅力を再発見・再認識し、その魅力を情報発信する取り組みの推進 |
| 地域の魅力を活かしたまちづくり・賑わいづくり | <ul style="list-style-type: none"> 地域の特色・強みを活かした住民主体のまちづくりへの支援 市町村が自主的、主体的に実施する先進的なまちづくり事業への支援 |
| 伝統文化・伝統芸能の保存・継承やその魅力発信と観光資源化 | <ul style="list-style-type: none"> 指定文化財の保存修理・環境整備等の推進や文化財指定された行事等で使用する用具の修理・復元新調及び後継者育成等事業への支援 ユネスコ無形文化遺産に登録された文化財の保存修理や魅力をPRする情報発信等への支援 |
| 世界文化遺産登録や世界ジオパーク認定に向けた活動の促進 | <ul style="list-style-type: none"> 立山砂防の顕著な普遍的価値の国内外への発信 世界ジオパーク認定を目指す立山黒部ジオパークの活動等への支援 |



文化財ボランティアの活動風景

| 県民参考指標 | | |
|---------------------|--------------------|-------|
| 地域の魅力づくりに取り組むNPO法人数 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 46法人 2011 (H23) | 55法人 2016 (H28) | 増加させる |

未来 26 地域の個性を活かした景観づくり

政策 豊かで美しい自然景観や田園景観が守り育てられ、良好な都市景観の形成が行われるとともに、地域の歴史や文化等の個性を活かした景観づくりが進められていること。

主な施策

| | |
|------------------------|--|
| 歴史・文化など地域の個性を活かした景観づくり | <ul style="list-style-type: none"> 地域の景観に調和した建築物の誘導及び修景事業への支援など、観光振興にも資する美しいまちづくりの推進 散居村・棚田など美しい田園景観の保全活動に対する支援及び歴史や文化などを活かしたまち並みづくりを進めるための修景整備等への支援 |
| 美しい沿道景観づくり | <ul style="list-style-type: none"> ガイドラインによる良質な屋外広告物への誘導 市街地や観光地等における道路の無電柱化の推進 |
| 県民参加の景観づくり活動への支援 | <ul style="list-style-type: none"> 景観フォーラムの開催等による県民の景観づくりについての意識の高揚 景観アドバイザーの派遣等による景観づくり住民協定の締結や市町村の景観づくり事業への支援 |



海王丸パーク親水護岸付近(ふるさと眺望点)

| 県民参考指標 | | |
|-------------------|--------------------|------|
| 景観づくり住民協定の締結件数 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 5地区 2011 (H23) | 13地区 2016 (H28) | 17地区 |

未来 27 豊かで美しい農山漁村の持続的な発展と都市との交流

政策 かけがえのない自然、新鮮で安全な食、伝統文化、自然エネルギー等の地域資源の活用や、都市住民との交流などにより、個性豊かで美しい農山漁村が形成されていること。

主な施策

| | |
|---------------|---|
| 快適で豊かな農村環境の整備 | <ul style="list-style-type: none"> 地域ぐるみによる農用地、水路などの農村環境の保全管理活動への支援 とやまGAPの普及定着と、環境にやさしい農業生産活動の推進 農業用水を利用した小水力発電など、自然エネルギーを活用した取り組みの推進 |
| 中山間地域の活性化 | <ul style="list-style-type: none"> 関係部局や市町村、NPO等が適切に連携した中山間地域サポート体制の充実 地域資源を活用した6次産業化や農村女性による起業活動に対する支援 「富山県イノシシ被害防止対策方針」に基づく広域的・効果的な農産物被害防止対策の推進 中山間地域等直接支払制度などを活用した農業生産の維持や荒廃農地の発生防止の推進 |
| 都市との交流拡大、移住促進 | <ul style="list-style-type: none"> 都市住民の田舎暮らし体験等を通じた移住促進 農林漁業体験等を通じた交流人口の拡大や農家等で宿泊に取り組む地域への支援 |



都市と農村との交流

| 県民参考指標 | | |
|-----------------------|-----------------------|---------|
| 農林漁業等体験者数 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 42,900人 2011 (H23) | 58,877人 2016 (H28) | 70,000人 |

未来 28 水と緑の森づくり・花と緑の地域づくり

政策目標 水と緑に恵まれた県土を支える多様な森づくりとそれを支える人づくりの推進が図られているとともに、四季折々の花と緑が満ちあふれた快適な生活環境が形成されていること。

■ 主な施策

- 水と緑に恵まれた県土を支える多様な森づくりの推進**
 - 県民との協働による里山林の整備や海岸林での松くい虫被害対策などの推進
 - スギ伐採跡地への優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の植栽の推進
- とやまの森を支える人づくりの推進**
 - とやまの森づくりサポートセンターによる森林ボランティア等の活動支援
 - 里山林の維持管理を支援する森づくりサポーターの養成
 - 森の寺子屋の開催など、森林環境教育の推進
- 県民緑化運動の推進と花と緑のあふれる地域づくり**
 - 花と緑の銀行を中心とした、県民が主役の花と緑の地域づくり活動の推進
 - 花と緑の銀行から委嘱・登録された頭取・グリーンキーパーによる担い手の掘り起こしと支援



森林ボランティアによる森づくり活動

| 県民参考指標 | | |
|-----------------------|-----------------------|-----------|
| 県民参加による森づくりの年間参加延べ人数 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 10,775人 2011 (H23) | 12,439人 2016 (H28) | 13,000人以上 |

〈参考〉計画策定への県民参加

● 県民意識調査

県民参加の一環として幅広く県民の意見を集め、計画に反映させるため調査を行いました。

| | |
|---------|---|
| 調査期間と対象 | 平成29年1月～2月 県内18歳以上 2,193名 (うち県政モニター 193名) |
| 回答 | 985名 (44.9%) |

● 有識者アンケート調査

県内外の各分野で活躍する方々を対象として、富山県の将来像や進むべき方向等について調査を行いました。

| | |
|---------|----------------------|
| 調査期間と対象 | 平成29年1月 県内外の有識者 794名 |
| 回答 | 588名 (74.1%) |

● 若者アンケート調査

富山県の将来を担う「若者」を対象として、定住、就業、結婚、家庭に関する意識、富山県の現状と課題・将来像などについて調査を行いました。

| | |
|---------|---|
| 調査期間と対象 | 平成28年12月～平成29年1月 県内外18歳～29歳 県内在住者及び県内高校出身の県外在住者 3,600名 |
| 回答 | 1,051名 (29.2%) |

● パブリックコメント

平成29年5月に取りまとめられた計画骨子案及び平成29年10月から12月にかけて取りまとめられた答申素案等について、県民から意見募集を行いました。

| | 意見募集対象 | 期 間 | 意見件数 | 提出者数 |
|-------|-----------------------|----------------------------|------|------|
| 計画骨子案 | 総論、活力、未来、安心、人づくり | 平成29年6月26日 ～平成29年7月25日 | 128件 | 47名 |
| 答申素案等 | 活力、未来、安心 | 平成29年11月1日 ～平成29年11月30日 | 14件 | 6名 |
| | 総論、重点戦略、人づくり、地域別、長期構想 | 平成29年12月22日 ～平成30年1月19日 | 19件 | 5名 |

● 知事のタウンミーティング

計画に県民の声を反映するため、知事が直接県民と対話するタウンミーティングを県内4会場で開催しました。

| 会 場 | 開 催 日 | 場 所 | 発言者 | 参加者 |
|------|------------|---------------|-----|-------|
| 新川会場 | 平成29年8月20日 | ホテルグランミラージュ | 9名 | 約140名 |
| 高岡会場 | 平成29年9月 2日 | 高岡市ふれあい福祉センター | 9名 | 約170名 |
| 富山会場 | 平成29年9月17日 | 富山県民会館 | 8名 | 約130名 |
| 砺波会場 | 平成29年9月23日 | TONAMI 翔凜館 | 9名 | 約250名 |

● 市町村・県議会議員からの意見聴取

計画策定に先立ち、各分野に関する今後の方向性や必要な取組みについて、各市町村長からアンケートを行うとともに、計画骨子案に対する意見を聴くため、県議会議員との意見交換会を開催しました。

| 種 別 | 日時・期間 | 場 所 | 参加者 |
|---------------------------------|--------------|---------|-----|
| 市町村長アンケート | 平成28年11月～12月 | — | — |
| 県議会議員との意見交換会 (計画骨子案に対する意見聴取) | 平成29年9月1日 | 富山第一ホテル | 37名 |

安心 1 医師の養成・確保

政策目標

地域医療を担う医師が確保され、すべての県民が質の高い患者本位の必要な医療を受けることができていること。

主な施策

| | |
|-----------------------------|--|
| 地域医療を志す医師の養成・確保 | <ul style="list-style-type: none"> ● 修学資金貸与制度の活用による医師の県内定着の促進 ● 医学部進学者に対する「知事の手紙」や医療情報等の送付 |
| 初期臨床研修医や専門医の確保と育成 | <ul style="list-style-type: none"> ● 臨床研修病院連絡協議会による研修指導體制の充実、研修医確保に向けたPR ● ドクターヘリを活用した研修、スキルアップセミナーの開催 |
| 産科や小児科、麻酔科、救急部門、総合診療などの人材確保 | <ul style="list-style-type: none"> ● 医療需要に応じた必要医師数の調査・研究の実施 ● 産科や小児科などの医師の派遣の調整 |
| 医師の勤務環境の改善 | <ul style="list-style-type: none"> ● 医療勤務環境改善センターにおけるアドバイザーの派遣等、医療機関の勤務環境改善の推進 ● 女性医師の働きやすい環境の整備や、女子医学生等の県内定着の支援 |



ドクターヘリ（2015（H27）年8月運航開始）

| 県民参考指標 | | |
|---------------------|---------------------|------|
| 医師数（人口10万人当たり） | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 241.0人 2010（H22） | 256.6人 2016（H28） | 270人 |

安心 2 看護師・保健師・助産師の養成・確保

政策目標

医療の高度化や専門化、在宅医療の進展などに対応できる看護師・保健師・助産師が確保され、すべての県民が質の高い患者本位の必要な医療を受けることができていること。

主な施策

| | |
|------------------------------------|--|
| 県民の健康をライフステージに応じて支える看護師・保健師・助産師の確保 | <ul style="list-style-type: none"> ● 看護師・保健師・助産師の県内定着の促進 ● 健康相談等保健サービス等を担う保健師や訪問看護を担う看護師の育成 ● 妊娠期から子育て期において、切れ目のない支援を行う助産師の確保 |
| 看護師・保健師・助産師の資質向上 | <ul style="list-style-type: none"> ● 認定看護師や特定行為が実施可能な看護師の養成に対する支援 ● 富山県立大学に看護学を研究する大学院や保健師、助産師を養成する大学専攻科を設置 |
| 職場定着・再就業支援 | <ul style="list-style-type: none"> ● 病院内保育所の整備など子育て支援による看護師・保健師・助産師の離職防止 ● 富山県ナースセンターにおける再就業希望者に対する就業相談、研修会の開催 |



看護学生U・1ターン応援病院見学会

| 県民参考指標 | | |
|-----------------------|----------------------|----------|
| 看護職員数（人口10万人当たり） | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 1,362.5人 2010（H22） | 1564.7人 2016（H28） | 1,790人以上 |

安心 3 最先端のがん医療など総合的ながん対策の推進

政策目標

県内における国内最高水準のがん医療の提供や、がんの早期発見体制の強化、患者支援体制の充実などの取組みにより、がんによる死亡の減少やがんになっても安心して暮らせる社会が構築されていること。

主な施策

| | |
|---------------|---|
| 予防の強化と早期発見の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ● がん予防のための望ましい生活習慣の確立に向けた普及啓発や受動喫煙防止対策のさらなる推進 ● 市町村や検診機関、企業等との連携によるがん検診受診の啓発の推進 ● 胃がんや乳がんの予防、早期発見・早期治療に関する啓発の強化 |
| 質の高い医療の確保 | <ul style="list-style-type: none"> ● 県立中央病院における最先端医療の提供や、がん診療連携拠点病院間の連携協力によるがん診療体制の充実 |
| 患者支援体制の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ● 県がん総合相談支援センターとがん診療連携拠点病院との連携の強化 ● 患者団体との連携の強化、がん経験者による相談支援（ピアサポート）体制の推進 |



県がん総合相談支援センターで実施している交流サロン（患者やピアサポーター等の交流）

| 県民参考指標 | | |
|-------------------|-------------------|-------|
| がん死亡率 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 81.5 2011（H23） | 68.3 2016（H28） | 減少させる |

安心 4 質の高い救急医療・リハビリ医療・在宅医療等の提供体制の充実

政策目標 高度急性期、急性期、回復期、慢性期、在宅医療に至るまでの一連のサービスを切れ目なく提供する体制が構築され、すべての県民が必要となときに安心して質の高い患者本位の必要な医療を受けることができること。

■ 主な施策

| | |
|------------------------------------|---|
| 医療連携体制の構築 | ● 病床の機能分化や、医療機関間における「病・病連携」や「病・診連携」の促進 |
| 高度救急医療体制、高度で専門的なリハビリテーション医療提供体制の整備 | ● ドクターヘリや県立中央病院の先端医療棟等の機能を活かした高度で専門的な救急医療の提供 ● 富山県リハビリテーション病院・こども支援センターにおける先進的なリハビリ手法の提供や、地域リハビリテーション体制の充実 |
| 在宅医療提供体制の整備 | ● 在宅医療推進拠点「富山県在宅医療支援センター」の運営や各医師会の「在宅医療支援センター」への支援 ● 訪問看護ステーションの規模拡大に向けた支援や、訪問看護の働き方改革・効率化の推進 |
| 医薬品、輸血用血液の安定供給等の確保 | ● OTC医薬品（一般用医薬品）の活用によるセルフメディケーションの推進や、子どもや高齢者にも使用が容易な医薬品等の開発 ● 若年層への献血思想の普及啓発 |



県立中央病院 先端医療棟 (2016 (H28) 年9月竣工)

| 県民参考指標 | | |
|---------------------------|----------------------|--------|
| 訪問看護ステーション設置数 (人口10万人当たり) | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 3.3事業所 2011 (H23) | 5.7事業所 2016 (H28) | 8.1事業所 |

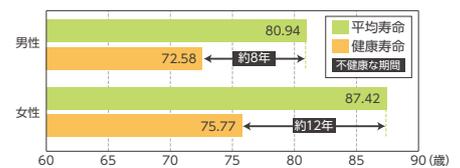
安心 5 健康寿命日本一を目指す総合対策の推進

政策目標 望ましい生活習慣の実践や適切な疾病対策などにより、県民一人ひとりが心身共に健康な生活を送り、健康寿命日本一を実現していること。

■ 主な施策

| | |
|-----------------------|---|
| 健康寿命日本一に向けた気運の醸成 | ● 経済団体や医療保険者、行政等の連携による社会全体で健康づくりを推進する環境づくりの構築 ● 県民一人ひとりが日常生活の中で生活習慣改善の意識が高まるような啓発活動の推進 |
| 生活習慣の改善 | ● 県民歩こう運動や健康イベント等による運動習慣の定着 ● 減塩や野菜摂取の促進等に取り組む飲食店等の登録の推進、県民への食生活改善普及活動の促進 |
| 糖尿病などの生活習慣病の早期発見・早期治療 | ● 糖尿病の重症化予防に向けた医療連携体制の整備 ● 歯科疾患の予防等による歯科口腔の健康づくり |
| 感染症など各種疾病対策の推進 | ● 新興感染症に対する防疫体制の強化や、再興感染症などの予防対策、まん延防止対策の推進 |

富山県の平均寿命と健康寿命の差 (H28)



資料：厚生労働科学研究費補助金「健康寿命及び地域格差の分析と健康増進対策の効果検証に関する研究」による推定値

| 県民参考指標 | | |
|--------------------------------------|--------------------------------------|------------------------|
| 健康寿命 (日常生活に制限のない期間の平均) | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 男性 70.63歳 女性 74.36歳 2010 (H22) | 男性 72.58歳 女性 75.77歳 2016 (H28) | 男性 74.21歳 女性 77.32歳 |

安心 6 人の痛みに寄り添い、支える場づくり

政策目標 こころの健康に関する相談体制の充実や自殺防止総合対策、DV対策、犯罪被害者等支援の充実により、地域で人の痛みに寄り添い、支える場がつけられていること。

■ 主な施策

| | |
|-------------------------|---|
| こころの健康づくりの推進 | ● 「心の健康センター」を中心とした相談体制等の充実や、市町村や関係機関と連携したひきこもり対策の強化、自殺防止対策の充実、依存症の相談拠点の整備や民間団体の活動支援などによる支援体制の充実 |
| 配偶者等からの暴力 (DV) のない社会づくり | ● 若年層への教育・啓発の強化など、DVの未然防止のための広報・啓発の推進 ● 富山県DV対策連絡協議会を通じた関係機関の連携強化や民間団体との協働などによる被害者の自立支援体制の強化 |
| 犯罪被害者等の支援の充実 | ● 県民・事業者の理解促進のための市町村や関係機関、民間支援団体と連携した普及啓発の推進 ● 市町村、相談機関、民間支援団体と連携した相談体制の充実、被害者等を支えることができる人材育成の推進 |

つながろう、心と心



Touch hearts.

「Touch hearts. (タッチハート)」は、心と心のつながりをイメージした富山県における自殺予防・防止のシンボルマーク・キャッチフレーズです。

| 県民参考指標 | | |
|------------------------|--------------------|--------|
| 自殺死亡率 (人口10万人当たりの自殺者数) | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 25.2 2011 (H23) | 17.7 2016 (H28) | 14.4以下 |

安心 7 食の安全の確保、食育の推進

政策目標 安全な食品が供給され、誰もが食品の安全性に関する情報を適時的確に入手することができるとともに、県民自らが「食」に関する知識と理解を深め、地場産食材を積極的に活用しながら、健全な食生活を実践していること。

■ 主な施策

| | |
|--------------------|---|
| 食品の安全性に関する情報の受発信 | <ul style="list-style-type: none"> ● ホームページを活用した情報提供や、講習会の開催などによる正しい知識の普及啓発 ● 厚生センターや食品表示110番などの窓口における消費者や事業者等からの相談への対応 |
| 食品の安全性の確保と適正な表示の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ● とやまGAPの普及と第三者認証GAP取得に向けた取組みの促進 ● 食品製造施設などへの衛生管理の指導強化と食品表示の監視・指導 |
| 県民ぐるみの地産地消の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ● 直売所やインショップ、農家レストランの開設等の支援 ● 地産地消「とやまの旬」応援団への登録や応援団員の地産地消活動に対する支援 |
| 富山の食に着目した食育の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ● 望ましい食習慣形成に向けた、保育所・学校等における指導や家庭と連携した普及啓発 ● 3015(さんまるいちご)運動の普及等による食品ロス削減の推進 |



栄養教諭による食育授業

| 県民参考指標 | | |
|----------------------------------|----------------------------------|-----------------|
| 児童生徒の朝食欠食割合 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 小5 0.8% 中2 1.7% 2011 (H23) | 小5 0.8% 中2 2.0% 2016 (H28) | 限りなく ゼロに近づける |

安心 8 地域包括ケアシステムの構築と地域共生社会の形成

政策目標 高齢者が可能な限り住み慣れた地域で生活できる地域包括ケアシステムが構築されるとともに、地域住民誰もが、役割を持ち、地域ぐるみで支え合いながら、自分らしく活躍できる地域共生社会が形成されていること。

■ 主な施策

| | |
|----------------------------|--|
| 地域包括ケアシステムの深化 | <ul style="list-style-type: none"> ● 地域包括ケア活動実践団体の募集・登録、実践顕彰などによる普及啓発の推進、地域活動の促進 ● 自立支援・重度化防止等の取組みや在宅医療・介護連携推進への支援 |
| 県民の福祉意識の高揚や地域の福祉活動を担う人材の育成 | <ul style="list-style-type: none"> ● 学校教育における福祉教育の充実 ● 民生委員・児童委員の資質向上及びその活動への支援 ● 地域における福祉活動の担い手となる人材の育成 |
| 地域ぐるみで支え合う地域共生社会の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ● 富山型デイサービス(共生型サービス)の充実・発展とこれを支える人材の育成 ● 「共生型包括ケアネット」(仮称)の構築による、様々な課題に対応できる包括的支援体制の整備 |
| 生活環境のバリアフリーの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ● 生活行動空間及び住宅環境等のバリアフリーの推進 ● ユニバーサルデザインのまちづくりの推進 |



富山型デイサービス(お年寄りと子どものふれあい)

| 県民参考指標 | | |
|--------------------|---------------------|-------|
| 富山型デイサービス施設設置数 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 86か所 2011 (H23) | 126か所 2016 (H28) | 200か所 |

安心 9 保健・医療・福祉の切れ目のない支援

政策目標 県民誰もが、保健・医療・福祉の切れ目のない支援や利用者の立場に立った質の高い介護サービス等が受けられること。

■ 主な施策

| | |
|----------------------------------|---|
| 在宅医療・介護連携の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ● 在宅医療・介護を支える関係者の相互理解を促進する仕組みづくり ● 医療機関・介護支援専門員の連携強化、脳卒中・がんなどにおける地域連携クリティカルパスの導入支援 |
| 相談支援体制の充実やこれを支える医療・福祉人材の養成・確保 | <ul style="list-style-type: none"> ● ピアサポーターの養成やピアサポート活動の推進 ● 高度な知識・技術と豊かな人間性を備えた専門的な医療・福祉人材の養成・確保 |
| 利用者の立場に立った質の高い福祉サービスの提供や利用者保護の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ● 判断能力が十分でない人に対する福祉サービスの利用援助など、利用者の立場に立ったサービス提供体制の充実 ● 福祉サービス第三者評価制度の推進 |



在宅医療・介護連携の強化に向けた会議

| 県民参考指標 | | |
|------------|-------------------|------|
| がんピアサポーター数 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| - | 71名 2016 (H28) | 211名 |

安心 10 介護・福祉人材の確保のための環境整備

政策目標 地域の介護・福祉サービスを担う人材が養成・確保されるとともに、処遇・職場環境の整備により、職場への定着が図られていること。

■ 主な施策

| | |
|-----------------------------|--|
| 若者等への介護・福祉の魅力のPRや多様な人材の参入促進 | <ul style="list-style-type: none"> ● 小中高校や介護福祉士養成校、福祉施設等と連携した若者の参入促進 ● 「介護の日」キャンペーンイベントや福祉・介護フォーラム等の開催などによる介護の魅力PR |
| 介護・福祉サービスを担う人材の教育・養成の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ● 学生に対する修学資金の貸付など、介護・福祉の担い手の育成支援 ● 介護職員を対象とした研修の充実など、職員の資質向上の推進 |
| 就業支援など人材確保の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ● 専門員配置によるマッチング強化や福祉職場説明会の開催等による、介護・福祉に従事または再従事しようとする者への支援 |
| 処遇・職場環境の改善等による介護職場の定着支援 | <ul style="list-style-type: none"> ● キャリアパス整備の支援など、職員の処遇改善の促進 ● 介護ロボット・ICT等の導入支援や事業所の表彰などによる職員の負担軽減や職場の環境改善 |
| 保育士等の人材確保と就業継続の支援 | <ul style="list-style-type: none"> ● 保育士等のキャリアアップのための研修の実施、職員の処遇改善の促進 ● 潜在保育士の掘り起こしや就労支援による保育士等の確保 |



福祉・介護の現場で活躍する職員

| 県民参考指標 | | |
|-----------------------|-----------------------|---------|
| 介護職員数 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 13,213人 2010 (H22) | 16,740人 2015 (H27) | 22,000人 |

安心 11 高齢者の介護予防と介護サービス、認知症対策の充実

政策目標 介護予防や介護サービス基盤の整備、認知症施策の充実により、一人ひとりの自立と尊厳を支えるケアが持続的に提供され、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられていること。

■ 主な施策

| | |
|-------------------------|---|
| 介護予防と生活支援サービスの充実 | <ul style="list-style-type: none"> ● 自立支援・重度化防止に向けた市町村の取組みへの支援 ● 介護予防・生活支援サービスの体制整備のための市町村の取組みへの支援 |
| 在宅と施設のバランスのとれた介護サービスの充実 | <ul style="list-style-type: none"> ● 小規模多機能型居宅介護事業所等の地域密着型サービス事業所の整備促進 ● 特別養護老人ホーム等の介護保険施設の整備及びユニット化の促進 |
| 認知症施策の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ● 認知症の理解を深めるための普及・啓発の推進、地域での見守り体制の整備 ● 認知症疾患医療センター等の充実など、医療と介護との連携促進 |
| 権利擁護の推進と相談支援体制の整備 | <ul style="list-style-type: none"> ● 市町村の高齢者虐待の早期発見の取組みへの支援 ● 成年(市民)後見制度の普及啓発 |

富山県の認知症高齢者将来推計



| 県民参考指標 | | |
|--------------------|--------------------|-------|
| 小規模多機能型居宅介護事業所数 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 52か所 2011 (H23) | 81か所 2016 (H28) | 160か所 |

安心 12 障害者に対する差別の解消と障害等の特性をふまえた支援

政策目標 障害の有無にかかわらず、すべての人が相互に人格と個性を尊重しながら支え合う社会が実現していること。

■ 主な施策

| | |
|-------------------|---|
| 障害に対する理解と権利擁護の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ● 相談体制の充実や関係機関との連携による差別解消に向けた取組みの推進 ● 県障害者権利擁護センターでの相談対応や関係機関の連携による虐待防止の推進 |
| 発達障害など多様な障害に対する対応 | <ul style="list-style-type: none"> ● 発達障害への対応力の向上及び医療・福祉・教育等関係機関の連携強化 ● 発達障害を含む障害のある児童生徒が在籍する小・中・高等学校を支援する仕組みの整備・充実 |
| 障害者の雇用・就労の促進 | <ul style="list-style-type: none"> ● 障害の態様に応じた職業訓練の実施や企業に対する障害者雇用施策の周知 ● 新たな就労分野の開拓や就労機会の提供などによる工賃向上支援の充実 |



障害者団体が中心となった理解啓発キャンペーン

| 県民参考指標 | | |
|---------------------|---------------------|-------|
| 障害のある人に対する差別があると思う人 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| — | 59.8% 2016 (H28) | 減少させる |

安心 13 障害者が地域で安心して暮らせる体制の整備

**政策
目標**

障害者一人ひとりが住み慣れた地域で自立した日常生活や社会生活を営んでいること。

■ 主な施策

地域での自立と社会参加の促進

- 共同生活援助（グループホーム）の充実など、地域における住まいの確保
- 障害者スポーツ及びアール・ブリュットなど障害者芸術文化の振興
- 手話によるコミュニケーション支援のさらなる充実や理解普及の促進

身近な地域での相談支援体制・サービス提供基盤の充実

- 相談支援従事者の養成や関係機関の連携による相談支援体制の充実
- 個々の障害者の年齢やニーズに応じたサービスの充実と円滑な利用の促進

重症心身障害児者等が必要な医療的ケアが受けられる体制の強化

- 医療的ケア児者等への支援体制の整備
- 日常的に医療的ケアが必要な児童生徒の教育活動に対する支援の充実



重症心身障害児者への支援

県民参考指標

共同生活援助（グループホーム）利用者数

| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
|--------------------|--------------------|----------|
| 562人 2011 (H23) | 763人 2016 (H28) | 1,080人以上 |

安心 14 循環型社会・低炭素社会づくりの推進

**政策
目標**

循環型社会・低炭素社会づくりについて県民・事業者の理解が深まり、エコライフの実践・定着が進むとともに、環境に配慮した事業活動や環境保全活動が広く実施されていること。

■ 主な施策

省エネルギーの推進

- 省エネルギー住宅や省エネルギー機器の普及の推進
- 事業者における環境マネジメントシステムの導入への支援
- 公共交通の利用促進

環境にやさしいエネルギーの導入・利活用の推進

- 小水力発電、バイオマス発電・熱利用の導入推進
- 県内初の地熱発電の導入に向けた取組みの推進
- 水素社会に向けた取組みの推進

環境教育の推進、環境保全活動の拡大

- 家庭、学校、地域等あらゆる分野の主体による幅広い年齢層に対する環境教育の推進
- レジ袋の無料配布廃止やとやまエコ・ストア制度、エコドライブなど、県民、事業者、行政が相互に連携協力したエコライフの実践・定着の促進



店頭でのレジ袋無料配布廃止への協力呼びかけ

県民参考指標

世帯当たりのエネルギー消費量の削減率（2002（H14）基準）

| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
|-----------------------|-----------------------|-------|
| 13.2%削減 2009 (H21) | 17.8%削減 2014 (H26) | 28%削減 |

安心 15 「富山物質循環フレームワーク」の実現に向けた「とやまモデル」の確立

**政策
目標**

県民・事業者・行政等の連携協力のもと、県内はもとより環日本海・アジア地域においても資源効率性・3Rの取組みが進み、循環型社会づくりに資する先進的な「とやまモデル」が確立されていること。

■ 主な施策

資源効率性・3R等の推進

- レジ袋の無料配布廃止や使用済小型家電リサイクル、とやまエコ・ストア制度など、廃棄物の発生抑制・再使用・再生利用の促進
- 3R推進全国大会などの場を活用した富山県の先進的取組みのPR

食品ロス・食品廃棄物対策の推進

- 「富山県食品ロス・食品廃棄物削減推進県民会議」を核とした、全県的な食品ロス等削減運動の展開
- 3015運動による食品の「使いきり」「食べきり」の啓発、商習慣の見直しなど、食品ロス等の発生抑制に向けた取組みの推進
- エコフィードの利用拡大などによる食品廃棄物の再生利用の促進

環日本海・アジア地域における資源効率性・3Rの推進への貢献

- 本県の先進的な取組みの情報提供など、資源効率性・3Rに関する制度構築への協力
- 県内環境関連企業の海外展開の促進



富山物質循環フレームワークが採択されたG7富山環境大臣会合

県民参考指標

一般廃棄物再生利用率

| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
|---------------------|---------------------|-------|
| 26.5% 2011 (H23) | 25.2% 2015 (H27) | 28%以上 |

安心 16 豊かな自然環境の保全

政策 自然を大切に思う心が育まれ、自然に対する理解が深まるとともに、生物多様性の確保や、人と自然との共生の取組みが進み、
目標 豊かで美しい自然環境が保全されていること。

■ 主な施策

| | |
|----------------------|---|
| 自然保護思想の普及啓発 | <ul style="list-style-type: none"> ● ナチュラリストやジュニアナチュラリストの養成や相互交流の促進 ● 自然への理解が深い子どもの育成 |
| 自然環境の保全に配慮した適正な利用の促進 | <ul style="list-style-type: none"> ● 自然公園における環境負荷の抑制と適正利用の推進 ● 自然公園等における山岳環境の保全に配慮した歩道や訪日外国人に対応した標識等の整備 |
| 自然環境保全活動の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ● 立山におけるバス排出ガス規制など、自然公園の貴重な植生の保護・復元 |
| 生物多様性の確保 | <ul style="list-style-type: none"> ● ライチョウの王国を維持する生息域内保全の推進 ● 生態系を脅かす外来生物の適切な管理の推進 |
| 野生鳥獣の適正な保護と管理の強化 | <ul style="list-style-type: none"> ● 自然環境被害や農作物被害などを引き起こす野生鳥獣の個体数を適正に管理する捕獲等の強化 ● 野生鳥獣の保護管理を担う人材や専門的な集団の育成・確保 |



ジュニアナチュラリスト養成講座

県民参考指標

| ナチュラリストとジュニアナチュラリストの認定者数 | | | |
|--------------------------|--------------------|--------------------|--------|
| | 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| ナチュラリスト | 727人 | 784人 | 1,000人 |
| ジュニアナチュラリスト | 243人 2011 (H23) | 328人 2016 (H28) | 420人 |

安心 17 安全な生活環境の確保と環日本海地域の環境保全

政策 県民一人ひとりが高い環境保全意識を持ち行動することで、本県が誇るきれいでさわやかな大気、豊かで清らかな水など安全で健康的な
目標 生活環境が確保されるとともに、環日本海地域において国連機関や自治体等が連携した環境保全の取組みが着実に進められていること。

■ 主な施策

| | |
|---------------------------------|--|
| 監視体制や発生源対策の強化など安全で健康的な生活環境の確保 | <ul style="list-style-type: none"> ● 大気汚染や海域等での水質汚濁の効率的・効果的な監視体制の整備 ● 工場・事業場におけるさらなる排出抑制に向けた取組み支援 ● 污水处理施設の未整備地域の早期解消及び施設の老朽化への対応 |
| 環境学習の充実と地域での環境保全活動の活性化 | <ul style="list-style-type: none"> ● 県民・事業者への水辺の環境調査の実施呼びかけなど、環境学習の機会の提供 ● 県民参加の環境保全活動の一層の推進 |
| イタイイタイ病の教訓等の後世への継承と国内外への情報発信 | <ul style="list-style-type: none"> ● イタイイタイ病資料館での貴重な資料の収集・保存・活用の推進 ● ホームページ等を活用した国内外への情報発信 |
| 国連機関や北東アジア地域の自治体等と連携した国際環境協力の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ● 北東アジア地域における環境保全の取組みの推進 ● NOWPAPや(公財)環日本海環境協力センター(NPECC)が行う海洋環境保全活動等への支援 |



海岸の清掃美化活動

県民参考指標

| 污水处理人口普及率 | | | |
|-----------|---------------------|---------------------|------|
| | 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| | 94.4% 2011 (H23) | 96.3% 2016 (H28) | 99% |

安心 18 清らかな水資源の保全と活用

政策 空から山、平野、川等を経て富山湾に至る水の循環と県民の諸活動との調和が図られ、水資源が有効に活用されるとともに、
目標 地域に根ざした水文化が継承されていること。

■ 主な施策

| | |
|-----------------------|---|
| 水源の保全と涵養 | <ul style="list-style-type: none"> ● 県民参加による森づくりや健全で機能の高い森づくりの推進 ● 富山県水源地域保全条例に基づく土地取引の把握等による水源保全対策の推進 ● 「地下水の守り人」の養成などによる地下水保全対策の普及推進 |
| 小水力発電など水資源の有効利用と多面的活用 | <ul style="list-style-type: none"> ● 農業用水等を利用した小水力発電の推進 ● 消流雪や防火、生態系保全など、水資源の多面的な利用の促進 |
| 水環境の保全 | <ul style="list-style-type: none"> ● 地域住民等による保全活動の推進 |
| 水を活かした文化・産業の発展 | <ul style="list-style-type: none"> ● 「とやまの名水」等の名水の保全と地域活性化等への活用 ● 魅力ある水辺空間の創出、深層水など水を利用した産業・観光の振興や水に関する情報発信 |



地下水の守り人養成講座(消雪設備の節水対策)

県民参考指標

| 水文化に関する活動に取り組んでいる団体数 | | | |
|----------------------|---------------------|---------------------|-------|
| | 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| | 182団体 2011 (H23) | 217団体 2016 (H28) | 240団体 |

安心 19 再生可能エネルギーの導入、新たなエネルギーの利用に向けた開発の促進

政策 豊かな県民生活や経済の持続的な成長を実現するため、本県の地域特性を活かした再生可能エネルギーの導入促進などエネルギーの多様化・効率化の推進や、水素など新たなエネルギーの利活用の取組みにより、エネルギー需給の安定が図られていること。

■ 主な施策

- | | |
|---------------------------------------|---|
| 再生可能エネルギーの導入促進によるエネルギーの多様化や効率化の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ● 小水力発電の導入推進やさらなる適地の発掘 ● 県内初の地熱発電の導入に向けた取組みの推進 ● バイオマスの導入促進や、木質バイオマス発電所などにおける県産の未利用間伐材の利用の促進、木質バイオマス利用施設等整備への支援 |
| 水素やメタンハイドレートなど新たなエネルギーの利活用に向けた取組み | <ul style="list-style-type: none"> ● 水素ステーションの整備に向けた取組みや、燃料電池車など次世代自動車の普及促進 ● 表層型メタンハイドレートの開発に向け、資源量把握のための調査の拡充などの国への働きかけ、県立大学等での資源回収技術の開発の推進 |
| 再生可能エネルギーの導入を通じた地域づくりやグリーンイノベーションの加速化 | <ul style="list-style-type: none"> ● エネルギーに関する普及啓発の推進や次世代を担う子どもへのエネルギー教育の推進 ● ICTや蓄電池等を活用したスマートコミュニティの形成に向けた取組みの促進 |



水素ステーションと燃料電池自動車
(福岡市中部水処理センター水素ステーション)

| 県民参考指標 | | |
|--------------------|--------------------|------|
| 小水力発電所の整備箇所数 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 19か所 2011 (H23) | 39か所 2016 (H28) | 60か所 |

安心 20 消防力や地域防災力等の強化による防災・危機管理体制の充実

政策 県民一人ひとりが、高い防災意識を持ち、地域での防災力が向上しているとともに、火災や自然災害はもとより、大規模テロや新型コロナウイルス等の新たな危機が万一発生した場合の備えが整えられていること。

■ 主な施策

- | | |
|--------------|---|
| 消防力・地域防災力の強化 | <ul style="list-style-type: none"> ● 若者や女性、被用者等の消防団への入団促進 ● 自主防災組織の未結成地区における組織化の推進やリーダー育成研修の実施、防災リーダーの育成 |
| 消防体制の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ● 消防の広域化や消防防災ヘリコプターなど消防・救急資機材の高規格化の推進 ● 救急業務の高度化に対応した救急救命士の養成 |
| 危機管理体制の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ● 危機管理事案発生時の迅速な初動体制の構築などのための富山県防災・危機管理センター(仮称)棟の整備 ● 関係機関が連携した災害及びテロ対策に係る危機管理体制の強化 |



広域消防防災センターにおける訓練風景

| 県民参考指標 | | |
|---------------------|---------------------|--------|
| 出火率(人口1万人当たりの出火件数) | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 1.92件 2011 (H23) | 1.81件 2016 (H28) | 1.8件以下 |

安心 21 防災・減災、災害に強い県土づくり

政策 水害や土砂災害などから県民の生命や財産を守るための施設等が整備され、社会の重要な機能が致命的な障害を受けず維持される、災害に強い県土が形成されていること。

■ 主な施策

- | | |
|---------------------------|---|
| 治山・治水・土砂災害対策の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ● 災害発生危険度の高い箇所における治山施設の重点的な整備 ● 堤防の建設や川幅の拡幅、放水路設置など河川の整備や、荒廃河川における砂防堰堤整備の推進 ● 利賀ダムの建設促進、既存ダムの管理施設等の改良 ● 砂防設備・地すべり防止施設・急傾斜地崩壊防止施設の着実な整備 |
| 市街地等の浸水被害を軽減する総合的な浸水対策の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ● 浸水対策計画の策定と当該計画に基づく河川、雨水排水路、農業用排水路等の整備 ● 雨水貯留施設の整備や水田等を活用した取組みなど、雨水流出抑制対策の推進 |
| 津波・高波・海岸侵食対策の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ● 海岸保全施設の整備と、長寿命化計画に基づく適切な点検及び維持管理、更新の推進 |
| 公共施設の計画的・効率的な維持管理の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ● 長寿命化計画に基づくライフサイクルコストの縮減や修繕・更新費用の平準化など、計画的な施設管理の推進 |



河川(放水路)の整備(沖田川放水路)

| 県民参考指標 | | |
|-----------------------|-----------------------|-------|
| 河川整備延長 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 408.8km 2011 (H23) | 418.5km 2016 (H28) | 428km |

安心 22 地震・津波対策、火山対策、原子力災害対策の充実

政策目標 地震や津波、火山、原子力の災害発生時において、県民の生命、身体及び財産が守られているとともに、速やかで的確な応急対策や復旧・復興対策が行われる体制が整備されていること。

■ 主な施策

| | |
|------------|--|
| 地震・津波対策の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ● 庁舎、学校や公共土木施設、農業水利施設、住宅等の地震対策の充実 ● 津波シミュレーション調査の結果を踏まえた津波災害警戒区域等の指定、警戒避難体制の整備等 ● 災害時における広域的な応援体制の充実及び受援体制整備の検討、受援計画や業務継続計画（BCP）の策定など、応急・復旧対策の充実 |
| 火山対策の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ● 火山ハザードマップの作成、避難計画の策定支援、装備資機材等の整備 |
| 原子力災害対策の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ● 市町村や原発立地県等との連携による住民への情報伝達・避難誘導体制の整備 ● 原子力防護資機材の整備や、原子力災害時における環境放射線モニタリング体制、医療体制の充実 |



総合防災訓練（倒壊家屋からの負傷者救出救助訓練）

| 県民参考指標 | | |
|-----------------------|-------------------|-------|
| 業務継続計画（BCP）を策定している市町村 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| — | 5市町村 2016（H28） | 15市町村 |

安心 23 雪に強いまちづくり

政策目標 降積雪時においても、県民生活に支障がなく、産業経済活動が円滑に進められるとともに、豊かな雪の文化が継承・創造されていること。

■ 主な施策

| | |
|------------|--|
| 雪害のないまちづくり | <ul style="list-style-type: none"> ● 重要路線における除雪レベルの向上などによる車道除排雪の強化や歩道除雪の充実 ● 地域ぐるみで行う、高齢者世帯など除雪が困難な世帯にも配慮した除排雪活動への支援 |
| 雪害防止対策の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ● スノーシェッドや雪崩防止柵等の整備推進 ● 雪崩防止機能を有する森林（なだれ防止保安林）の維持・造成の推進 |
| 雪の文化の継承と創造 | <ul style="list-style-type: none"> ● 雪国の伝統的な生活文化の継承 ● 雪に親しみ雪を楽しむ催しの開催等による雪の文化の創造や、冬の富山の魅力の情報発信 |



地域ぐるみ除排雪

| 県民参考指標 | | |
|--------------------|--------------------|-------|
| 地域ぐるみ除排雪を推進している地区数 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 276地区 2011（H23） | 307地区 2016（H28） | 350地区 |

安心 24 犯罪の抑止と交通安全対策の推進

政策目標 犯罪や交通事故の発生しにくい環境づくりが進み、県民が安全で安心して暮らすことのできる社会が実現していること。

■ 主な施策

| | |
|-------------|--|
| 安全なまちづくりの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ● 民間の防犯パトロール隊、青色回転灯装備車等によるパトロール活動などの地域における防犯活動の支援 ● カギかけ防犯対策など県民の防犯意識の高揚 |
| 交通安全対策の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ● 交通安全教室の開催、街頭キャンペーンの実施等、高齢者を中心とした交通事故防止対策の強化 ● 高齢者や子どもの安全・安心な道路交通環境を確保するための各種交通安全施設の整備 |
| 警察機能の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ● 時代の要請に質的・機能的に対応した警察署等の警察施設の計画的な整備 ● 様々な警察活動において的確に対処できる高度な専門的知識と能力を有する人材の育成 |



交通安全運動出発式

| 県民参考指標 | | |
|-------------------------|--------------------|-------|
| 犯罪発生率（人口1万人当たりの刑法犯認知件数） | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 61.1件 2011（H23） | 50.6件 2016（H28） | 45.6件 |

安心 25 地域公共交通の維持活性化と新たな展開

政策 県民の生活を支える身近な公共交通サービスが将来にわたって安定的に確保され、高齢者、障害者など誰もが安全で快適に移動できていること。

主な施策

- 総合的な地域公共交通体系の構築の推進**
 - 総合的な地域公共交通体系の構築に向けた関係者の幅広い協議の推進
 - 交通機関相互の接続利便性の向上等に向けた交通事業者間の連携協力の推進
- 地域公共交通ネットワークの維持活性化**
 - 持続可能な地域公共交通の確立に向けた支援、ノーマイカー運動等の普及啓発、パークアンドライドの推進等による地域公共交通の利用促進
 - バス交通情報のオープンデータ化やバス位置情報システムの構築による交通情報の提供、交通ICカードの導入促進など、地域公共交通の利便性の向上
- 地域のニーズに対応した公共交通サービスへの支援**
 - 低床車両の導入支援や、交通結節点のバリアフリー化の推進など、利用者しやすい交通環境の整備
 - バス路線の再編や、コミュニティバスからデマンド型交通への転換等の支援



コミュニティバス

県民参考指標

| 鉄道・バスの利用率 (県民1人当たりの県内の鉄道・バスの年間利用回数) | | |
|--|---------------------|-------|
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 39.3回 2011 (H23) | 44.0回 2016 (H28) | 47.0回 |

安心 26 安全・安心で豊かな住環境づくり

政策 耐震性やバリアフリー性能等を備えた地球環境にもやさしい住まいで、それぞれのライフステージに応じて豊かな住生活が営まれていること。

主な施策

- 住宅の耐震化、バリアフリー化、省エネルギー化等の促進**
 - 木造住宅の耐震化の促進
 - バリアフリー化への支援やユニバーサルデザインの周知・啓発など、誰もが安全・安心に暮らせる住宅の整備促進
 - 住みよい家づくり資金融資制度等の活用による、省エネルギー住宅の普及促進
- 地域の特性に応じた良質で快適な住環境の整備**
 - まちなか居住を誘導する市街地再開発事業や土地区画整理事業等の推進
 - 空き家の発生防止、利活用、適正管理及び老朽空き家の除却等の促進
- 住宅市場の環境整備と住宅セーフティネットの充実**
 - 建物状況調査(インスペクション)の活用による、中古住宅の品質確保と流通の活性化
 - サービス付き高齢者向け住宅等の供給促進
 - 高齢者、障害者、低額所得者等の居住の安定を図るための公営住宅の活用



住宅の耐震改修工事

県民参考指標

| 住宅の耐震化率 | | |
|-------------------|-------------------|------|
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 68% 2008 (H20) | 72% 2013 (H25) | 91% |

安心 27 消費生活の安全の確保

政策 県民誰もが、消費者トラブルに巻き込まれず、また、医薬品の安全性などに不安を感じることなく、安心して生活を送っていること。

主な施策

- 安全・安心な消費生活の実現**
 - 各ライフステージに応じた消費者の自立を支援する消費者教育の推進
 - 県消費生活センターの中核的機能の充実強化
- 医薬品や危険物等の安全性の確保**
 - 医薬品等に関する情報提供の実施
 - 薬物乱用防止対策の充実
 - 講習会などを通じた高圧ガス、毒物等の保安管理の促進
- 動物愛護思想の普及啓発や適正飼育の推進**
 - 動物ふれあい教室や動物愛護フェスティバルなどを通じた動物愛護思想の普及
 - 終生飼養や動物による危害・迷惑問題の発生防止対策の充実などの適正飼育の推進
- 衛生的な生活環境の確保**
 - 生活衛生関係営業施設への監視指導による衛生水準の維持向上
 - 水道水、飲用井戸水等や特定建築物の衛生指導の推進



県消費生活センターでの電話相談

県民参考指標

| 消費生活相談解決率 | | |
|---------------------|---------------------|-----------|
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 98.7% 2011 (H23) | 98.2% 2016 (H28) | 100%に近い水準 |

1 優れた知性、豊かな心、たくましい体を持った子どもの育成

政策 未就学児から中学生までの子どもが、基礎的・基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力などの優れた知性を持ち、望ましい生活習慣や規範意識、公共心、感謝や思いやりなどの豊かな心を育むとともに、たくましく生きるための体力を身につけること。

■ 主な施策

| | |
|---------------------------|---|
| 基礎的・基本的な知識・技能や思考力、判断力等の育成 | <ul style="list-style-type: none"> 効果的な少人数教育の推進 知識・技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育み、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実 |
| 豊かな心の育成と道徳性の涵養 | <ul style="list-style-type: none"> 「いのちの教育」の推進による豊かな心を持った人材の育成 幼稚園、保育所等での親学び講座の充実・推進 |
| 運動習慣の定着と食育・健康教育の推進 | <ul style="list-style-type: none"> 元気っ子育成計画やみんなでチャレンジ3015の継続による運動習慣の定着と体力向上 学校における食に関する指導など、子どもたちの望ましい食習慣の定着の推進 |
| 豊かな感性と創造性の育成 | <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒が質の高い芸術に触れ、親しむ機会や創作活動の充実 |



幼児期からの運動実践

| 県民参考指標 | | |
|---------------------|---------------------|------|
| 運動に取り組む児童の割合 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 94.7% 2011 (H23) | 97.2% 2016 (H28) | 98% |

2 チャレンジ精神あふれる、困難にくじけない子どもの育成

政策 将来の夢や目標をしっかりと持って、困難にくじけず力強く未来を切り拓いていく、チャレンジ精神あふれる子どもが育っていること。

■ 主な施策

| | |
|------------------------------|---|
| 課題解決能力、論理的思考力、コミュニケーション能力の育成 | <ul style="list-style-type: none"> 生涯にわたって自ら学び、考え、行動する力や豊かな人間関係をつくるためのコミュニケーション能力を持った人材の育成 ICTの効果的な活用などによる、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善や情報活用能力の育成 |
| 社会に貢献し、信頼される人材の育成 | <ul style="list-style-type: none"> 「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」などによる、主体的に社会へ参画する力、社会に貢献する意欲や態度を持った人材の育成 主体的な政治参加意識や地域社会へ参画する意識の向上を図る機会の充実 |
| スポーツ分野における人材の育成 | <ul style="list-style-type: none"> 優れた運動能力を秘めた児童の発掘と競技団体、学校、家庭等との連携による、将来の本県スポーツ界を担う人材の育成 中・高校生選手の長期的な育成・強化の推進による、全国や世界の檜舞台で活躍できるアスリートの育成 |



第45回全国中学校ハンドボール大会優勝(氷見市立北部中学校)

| 県民参考指標 | | |
|------------------------------------|------------------------------------|-------|
| 将来の夢や目標を持っている子どもの割合 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 小6 87.4% 中3 73.7% 2012 (H24) | 小6 84.5% 中3 72.0% 2016 (H28) | 増加させる |

3 家族や地域の絆、ふるさとを大切にすることの育成

政策 グローバル社会において、根なし草にならないよう、ふるさとに愛着と誇りを持ち、家族や地域の絆を大切にすることが育っていること。

■ 主な施策

| | |
|----------------------|--|
| 家族の絆を大切にすることの育成 | <ul style="list-style-type: none"> ふるさとの学びや身近な自然体験に家族と共に参加する活動を通じて、子どもが家族の絆を深める取組みの推進 ふるさとの優れた先人について、その志などを子どもたちと親が共に理解する機会の充実 |
| 地域の絆や伝統文化を大切にすることの育成 | <ul style="list-style-type: none"> 伝統文化の保存・継承のための文化財ボランティアの育成・確保 高校の郷土芸能部の活動や小中学校における伝統文化や伝統芸能を学び継承する活動の支援 |
| ふるさとに誇りと愛着を持つ子どもの育成 | <ul style="list-style-type: none"> 学校における、富山の自然、歴史、文化、先人の偉業などを学び、理解を深める教育の推進 博物館や図書館、美術館を活用した郷土の自然、歴史、文化を学ぶふるさと学習の推進 |



南砺平高校 郷土芸能部

| 県民参考指標 | | |
|-----------------------|-----------------------|---------|
| 地域文化に関係するボランティア活動者数 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 13,510人 2011 (H23) | 13,770人 2016 (H28) | 14,150人 |

4 たくましく成長するための支援と社会で活躍できる人材の育成

政策目標

若者が、自らの可能性を開花させ、才能や個性を伸ばして、たくましく成長し、社会で活躍できる有為な人材となっていること。

主な施策

| | |
|------------------------------|--|
| 学生等の職業意識の早期形成を目指したキャリア教育の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ● 高等学校における外部人材を活用した就職支援、インターンシップの推進及び進路相談等の充実 ● 学生の職業意識の早期形成を目指したキャリア教育の推進 |
| 未来のイノベーションを起こす人材を育成する取組みの充実 | <ul style="list-style-type: none"> ● ものづくり研究開発センターの最先端設備を活用した高度なものづくり人材の育成 ● 薬事総合研究開発センターによる最先端設備などを活用した県内大学生や高校生に対する技術実習の実施 |
| 高等学校や大学におけるグローバルな教育環境の整備 | <ul style="list-style-type: none"> ● 生徒の多様な実態に応じた英語教育の推進による語学力の向上 ● アセアン地域等からの優秀な留学生の県内高等教育機関への受入拡大 |
| 芸能・文化や医療・福祉分野における人材育成の取組みの充実 | <ul style="list-style-type: none"> ● 国際的な活動機会の充実により学生等が文化に触れる機会を拡大 ● 修学資金貸与制度の活用等による医療人材や福祉人材の育成 |



薬事総合研究開発センターにおける技術実習

| 県民参考指標 | | |
|---------------------|---------------------|------|
| インターンシップ等体験率(県立高校) | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 65.5% 2011 (H23) | 72.9% 2016 (H28) | 80% |

5 若者の職業的自立や起業の支援

政策目標

若者が、就業に必要な知識・技能の習得や起業へのチャレンジ支援などにより職業的・社会的に自立し、自らの力で力強く人生を切り拓いていること。

主な施策

| | |
|--------------------------------|--|
| 若者の職業的自立と県内学生の県内定着・職場定着 | <ul style="list-style-type: none"> ● ヤングジョブとやまによる個別の学生のニーズに応じた支援 ● 早期段階から県内企業等の理解を深めることなどによる、地域を支え富山で活躍できる人材の育成 |
| 特に個別の支援を要する若者に対する職業的自立の支援 | <ul style="list-style-type: none"> ● 富山県若者サポートステーションによる若者の社会的・職業的自立の支援 ● 民間委託訓練のコース拡大によるニートやフリーター層への訓練強化 |
| 若者の起業、個別の産業分野における意欲ある担い手の育成・確保 | <ul style="list-style-type: none"> ● とやま起業未来塾等による若者の起業支援 ● とやま観光未来創造塾による次世代の観光の担い手の育成 ● とやま農業未来カレッジや富山県林業カレッジ等による農林水産業に就業するために必要な知識・技術習得のための研修の実施 |



デュアルシステム訓練

| 県民参考指標 | | |
|---------------------------------|---------------------------------|-------------------|
| デュアルシステム訓練の受講者数 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 施設内 10人 委託 69人 2011 (H23) | 施設内 20人 委託 68人 2016 (H28) | 施設内 20人 委託 80人 |

6 若者の社会の一員としての自立促進

政策目標

若者が、政治への参加意識を持つとともに、社会貢献を行おうとする姿勢を身につけながら積極的に社会活動に取り組むなど、社会的な役割と責任を担っていること。

主な施策

| | |
|----------------------|--|
| 若者の地域づくりやボランティア活動の支援 | <ul style="list-style-type: none"> ● 地域コミュニティ活動への若者の参加促進と活動の中核となる人材の育成 ● 高校生、大学生等のボランティア意識の向上とボランティア・NPO活動への参加促進 |
| 生命の尊さや結婚・家庭を持つ意義の啓発等 | <ul style="list-style-type: none"> ● 家庭の持つ意義についての理解の促進や結婚・出産・子育ての喜びを伝える取組みの推進 ● 結婚を希望する男女の出会いの機会の提供など出会いのサポートの充実 |
| 若者への主権者教育等の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ● 高校生等を対象とした出前授業や模擬投票などの実施を通じた若者の政治参加意識の醸成 ● 大学等での選挙期日や投票方法の周知など、若年層に対する選挙啓発の充実 |



選挙出前授業

| 県民参考指標 | | |
|---------------------|---------------------|------|
| 地域活動に参加している若者の割合 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 37.9% 2011 (H23) | 37.7% 2016 (H28) | 42% |

7 女性が能力を発揮でき、安心して働き続けられる環境づくり

政策目標 女性がその能力を十分発揮することができるよう、適切な能力開発が行われ、就業継続を希望する女性が安心して働き続けられる環境が整備されていること。

■ 主な施策

| | |
|-----------------------------|--|
| 女性の能力発揮に向けた支援の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ● 県民共生センターにおける各種講座等の開催による女性の能力開発の支援 ● 女性団体等が自主的に企画・運営する啓発イベント等の支援による女性の人材育成 |
| 就業継続しやすい職場環境の整備 | <ul style="list-style-type: none"> ● 女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定及び取組みへの支援 ● 育児や介護等との両立ができる柔軟な働き方（短時間勤務、テレワーク、フレックスタイム制度等）の促進 |
| 子育てしながら安心して働き続けることができる環境づくり | <ul style="list-style-type: none"> ● 延長保育、休日保育、病児・病後児保育などの特別保育の充実 ● 放課後児童クラブの設置と開所時間の延長を支援 |
| 結婚、出産等を機に離職した女性の再就職への支援 | <ul style="list-style-type: none"> ● 再就職を目指す女性のためのセミナー等の充実による再就職支援 ● 県民共生センターにおけるチャレンジナビゲーターによる再就職相談の実施 |



再就職を目指す女性のためのセミナー

| 県民参考指標 | | |
|---------------------|---------------------|-------|
| 30歳から34歳の女性の就業率 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 74.1% 2010 (H22) | 79.0% 2015 (H27) | 87.2% |

8 女性のキャリアアップ、管理職への積極的な登用などの推進

政策目標 企業等において女性のキャリアアップ、管理職への登用が積極的に行われ、女性が様々な分野で活躍できる環境が整備されていること。

■ 主な施策

| | |
|--------------------------------------|---|
| リーダーを目指す女性のキャリアアップ支援 | <ul style="list-style-type: none"> ● 女性の自己研鑽と業種・職種の枠を越えたネットワーク構築による女性のキャリアアップ支援 |
| 企業等における女性の管理職登用や能力開発の促進 | <ul style="list-style-type: none"> ● 女性の管理職登用や能力開発等に積極的な企業の顕彰 ● チーフ・オフィサーを通じた積極的な女性管理職の登用や能力開発、職域拡大等の取組みを促進 |
| 企業や経済団体、関係機関等と連携した女性が活躍できる職場環境づくりの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ● 女性の活躍推進委員会等を通じた女性の活躍や働き方の見直しに向けた取組みの推進 ● 企業経営者等によるネットワークの構築や経営者向けセミナーの開催などによる女性が活躍しやすい職場環境づくりの推進 |



輝めく女性リーダー塾

| 県民参考指標 | | |
|--------------------|--------------------|------|
| 女性の管理職比率 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 5.7% 2010 (H22) | 7.6% 2015 (H27) | 14% |

9 女性の起業や再就職などの支援、女性の研究者・技術者等の育成

政策目標 女性の起業などが進むとともに、次代を担う女性の研究者や技術者が増大し、理工系分野等への女性の参画が進んでいること。

■ 主な施策

| | |
|---------------------|---|
| 起業等を志す女性のチャレンジ支援 | <ul style="list-style-type: none"> ● 女性農業者の起業活動に必要な知識・技術の習得、機材等の整備を支援 ● 結婚、出産等を機に一旦離職し再就職を目指す女性の新たな分野へのチャレンジやスキルアップを支援 |
| 女性研究者・技術者等の育成 | <ul style="list-style-type: none"> ● とやま科学オリンピックの充実など、科学に対する関心を高め、科学的な才能などを伸ばす教育の推進 ● 富山県立大学における工学部の学科拡充・新設による教育研究分野の充実などにより、次代を担う女性研究者・技術者の育成を促進 |
| 理工系分野の産業における女性の活躍推進 | <ul style="list-style-type: none"> ● ものづくり産業に従事する女性に対する女性リーダーの講話やグループ討議の実施 ● 建設業への女性や若手技術者等の入職・定着・育成を支援 |



木材加工の職業訓練の様子

| 県民参考指標 | | |
|---------------------|---------------------|-------|
| 女性技術者・研究者の割合 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 11.8% 2010 (H22) | 13.6% 2015 (H27) | 16.4% |

10 がんばる働き盛りなどへの積極的な支援

政策 働き方改革を推進し、働く一人一人ひとりが、個性と能力に応じてキャリアアップを図りながら、持てる能力を最大限に発揮し、
目標 いきいきと働いていること。

■ 主な施策

| | |
|--------------------|---|
| 経済・産業の発展を支える人材育成 | <ul style="list-style-type: none"> ○ オーダーメイド型在職者訓練による働き盛りのバックアップ ○ とやま起業未来塾による起業家人材の育成 |
| 障害者の就業促進 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 障害者就業・生活支援センターにおける職場実習の支援や、企業における障害者雇用に係る知識や理解の普及啓発の推進 |
| キャリアアップの仕組みの構築 | <ul style="list-style-type: none"> ○ ライフスタイルに応じたキャリア選択を行い、新たなステージで求められる能力・スキルを身につけることができる環境整備の推進 |
| 長時間労働の是正等の働き方改革の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「イクボス企業同盟とやま」による経営戦略としての働き方改革の推進 ○ 企業・取引先・従業員・消費者など様々な立場での働き方改革の気運の醸成や実践に向けた取組みの推進 |



企業経営者等のネットワーク「イクボス企業同盟とやま」の設立式

| 県民参考指標 | | |
|--------------------|------------------|-------|
| 「イクボス企業同盟とやま」加盟団体数 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| — | 設立 2017 (H29) | 200団体 |

11 コミュニティや地域活性化を担う人材が育つ環境づくり

政策 介護や福祉、防災や防犯など、身近な分野でコミュニティを支え、地域活性化の中心となる人材が育成されていること。
目標

■ 主な施策

| | |
|--------------------------------|---|
| 地域コミュニティ活動への参加促進と活動の中核となる人材の育成 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域防災の中心となるリーダーの育成支援や、民間の防犯パトロール隊などの地域における防災・防犯活動の支援 ○ 消防団活動への理解が深まるようなPR活動や団員確保に向けた取組みに対する支援 |
| NPOやボランティアの人材育成 | <ul style="list-style-type: none"> ○ NPO法人設立基礎講座・マネジメント力向上講座や相談会の開催など、NPO法人の核となる人材の育成 ○ 入門からリーダー育成までの体系的な研修や分野ごとの専門研修の実施などボランティア人材の育成 |
| 地域の介護・福祉人材の発掘・育成 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 健康・福祉人材センターにおけるマッチング強化や福祉職場説明会の開催等による就業支援 ○ ケアネット活動などの地域福祉活動の担い手となる人材の育成 |



学校安全パトロール隊

| 県民参考指標 | | |
|-------------------|---------------------|------|
| 自主防災組織の組織率 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 68% 2011 (H23) | 77.5% 2016 (H28) | 90% |

12 大人から子どもへの貧困の連鎖の防止

政策 すべての子どもが生まれ育った環境に左右されず、学びや進学の間を待たれ、夢や希望にチャレンジできるよう社会全体で
目標 支えていること。

■ 主な施策

| | |
|---------------|--|
| 子どもに対する教育の支援 | <ul style="list-style-type: none"> ○ ひとり親家庭の子どもを対象とした、学習支援ボランティア等による塾形式の学習支援 ○ 中学生を対象とした、地域住民の指導やICTの活用等による学習支援 |
| 子ども、保護者の生活の支援 | <ul style="list-style-type: none"> ○ スクールソーシャルワーカーによる家庭内の問題についての相談支援 ○ こども食堂等の子どもの居場所づくり活動を行う民間団体に対する支援 |
| 保護者の就労支援 | <ul style="list-style-type: none"> ○ ひとり親家庭の親に対する求人情報の提供や就業支援講習会等の実施による就業支援 ○ ひとり親家庭の親への高等職業訓練促進給付金の支給や高等職業訓練促進資金の貸付 |
| 経済的支援 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 市町村と連携した保育料の軽減制度の拡充 ○ ひとり親家庭に対する放課後児童クラブやファミリー・サポート・センターの利用料助成 |



オタヤこども食堂のスタッフの皆さん

| 県民参考指標 | | |
|--|--|-------|
| ひとり親(母子世帯・父子世帯の親)の正規就業率 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 母子世帯 48.9% 父子世帯 70.6% 2008 (H20) | 母子世帯 50.2% 父子世帯 71.4% 2013 (H25) | 増加させる |

13 元気な高齢者の就業・起業支援

政策 元気な高齢者が専門的な技術、技能等を活かして地域社会の担い手として活躍できるよう、多様な雇用・就業機会を確保すること。
目標

■ 主な施策

| | |
|--------------------------|---|
| 高齢者の意欲や能力に応じたマッチングや起業の促進 | <ul style="list-style-type: none"> とやまシニア専門人材バンクによる、専門的知識・技術・経験を有する高齢求職者と企業のマッチング シルバー人材センターの活動等の支援のほか、他の高齢者向けの就労・就業支援機関と連携した取組みの推進 |
| 地域社会の担い手となる「エイジレス人材」の育成 | <ul style="list-style-type: none"> 人生100年時代を見据えた全世代型の職業・生活設計を行えるよう支援 人生100年時代に向けて、シニアやその前段階の学び直しによるキャリアの再設計 |
| 高齢者の働く環境の整備 | <ul style="list-style-type: none"> 企業における仕事の切り出し、ワークシェアの推進による働く場の整備 テレワークやクラウドソーシングなどの新たな働き方の高齢者に対する普及促進や、高齢者が働きやすい環境の整備 |



とやまシニア専門人材バンク

| 県民参考指標 | | |
|---------------------|---------------------|---------|
| 65歳から74歳の就業率 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 33.2% 2010 (H22) | 39.0% 2015 (H27) | 42.1%以上 |

14 高齢者の地域貢献活動の支援

政策 高齢者がいきいきと生きがいを持って暮らし、豊富な経験や知識を活かしたボランティア・NPO活動や地域活動など、高齢者の力が地域活性化に活かされていること。
目標

■ 主な施策

| | |
|-----------------------------|---|
| 高齢者の社会活動の参加の促進 | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者のボランティア・NPO活動への参加促進を図る講座の開催や相談窓口の設置等による活動支援 シニアタレントによる社会貢献活動など、地域におけるボランティア活動等の促進 |
| 子ども・若者など異世代との交流を通じた高齢者の社会参画 | <ul style="list-style-type: none"> 子育てシニアサポーターなど保育施設等でボランティア活動を実施できる高齢者人材の発掘・養成 家族ふれあいによる高齢者の健康づくりの推進 |
| 高齢者の生涯学習や生涯スポーツの促進 | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者が気軽にスポーツ活動に参加できる機会づくりの推進 高齢者が生涯学習に参加できる機会づくりの推進 |



子どもの見守りパトロール活動

| 県民参考指標 | | |
|----------------------|----------------------|--------|
| 地域社会における高齢者等の活動件数 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 5,296件 2011 (H23) | 5,640件 2016 (H28) | 6,400件 |

15 高齢者の知識や経験、技能の継承

政策 伝統文化や伝統芸能の子どもたちへの伝承、優れた技法を保有する伝統工芸の匠や熟練技能者からの技能の継承など、高齢者が長年培った知識や経験、技能が次世代に受け継がれていること。
目標

■ 主な施策

| | |
|-----------------------------|---|
| 地域の異世代交流の中での伝統文化・芸能の次世代への伝承 | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者から子どもたちへ伝統行事や祭り、伝統芸能等を伝承する活動への支援 地域や学校等におけるふるさと学習を活用した、高齢者の知恵や経験に基づく伝統文化の継承 |
| 高齢者から若者への熟練技能等の移転 | <ul style="list-style-type: none"> 優れた熟練技能を有するとやまの名匠等による熟練技能の継承や後継者の育成 |
| 伝統産業等における後継者の確保・育成と技術の継承 | <ul style="list-style-type: none"> 高度な技術や希少な技法を有する伝統工芸の匠による技術の継承に対する支援 伝統工芸品産業の後継者の確保・育成に対する支援 |



熟練技能の継承の取組み例

| 県民参考指標 | | |
|-------------------|-------------------|------|
| 「とやまの名匠」の認定者数 | | |
| 概ね5年前 | 現況 | 10年後 |
| 45人 2011 (H23) | 77人 2016 (H28) | 127人 |

地域別の特性と取組み

県では、基本政策（活力とやま、未来とやま、安心とやま）とこれらを支える重要政策「人づくり」を全県的な視点で進めていきますが、県内各地域はそれぞれ特色ある地域資源を有効に活用しながら、個性を磨き上げ、魅力ある地域づくりを進めることが不可欠となっています。このため本計画では、各地域の特性或課題を踏まえた主だった取組みの方向を示しています。

高岡・射水地域 高岡市、射水市、氷見市

高速交通網や港湾等広域的な交通基盤の整備が進められ、環日本海・アジアの交流拠点としての役割を果たすとともに、金属製品等の産業や伝統産業が盛んなほか、歴史・文化や豊かで美しい自然環境に恵まれた多彩な地域。

〈取組みの方向〉

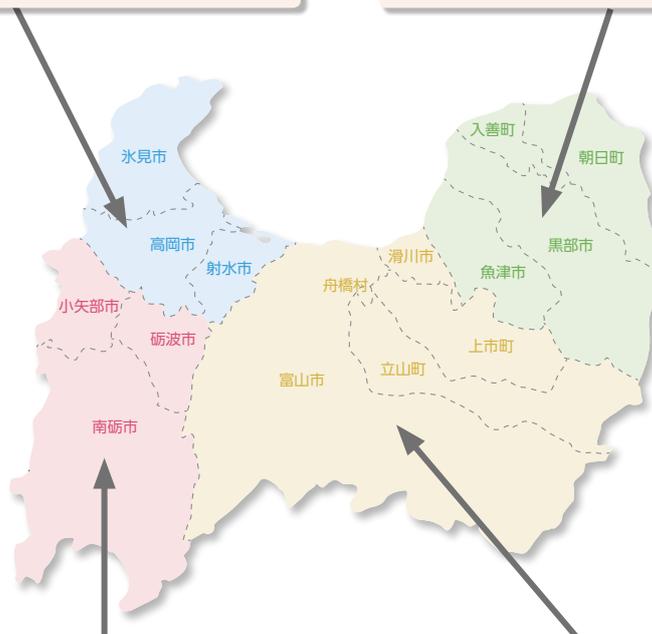
- ・アルミ関連産業や高岡銅器等の伝統産業の振興
- ・白ねぎやブリ、ベニズワイガニなど、付加価値の高い特色ある農林水産業の振興と、生産力、ブランド力の強化
- ・北陸新幹線新高岡駅を核とした広域的な交通基盤の整備や伏木富山港の港湾機能の充実等による交通ネットワークの充実と地域活性化
- ・観光資源の活用（国宝瑞龍寺、ひみ番屋街、海王丸パーク、まんがロードやキャラクター電車などのアニメコンテンツ等）
- ・伝統文化の保存・継承（「越中万葉」の歌碑や万葉歴史館、高岡御車山祭、やんさんま、各地の曳山行事、獅子舞等）

新川地域 魚津市、黒部市、入善町、朝日町

雄大な北アルプスの豊かな自然環境を背景として、金属製品や電子材料・部品、一般機械等の産業が集積するとともに、自然や伝統文化等の恵まれた観光資源を活かし、活発な交流が行われる賑わい豊かな地域。

〈取組みの方向〉

- ・アルミ等の金属製品、電子部品、一般機械等の地域産業の振興、深層水を活用した新商品開発や販路開拓
- ・入善ジャンボ西瓜、加積りんご、黒部名水パークなど付加価値の高い農林水産物等の生産拡大と、ブランド力の強化
- ・北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅を核とした交通基盤の整備や地域公共交通の充実による各地へのアクセス向上と地域活性化
- ・観光資源の活用（黒部峡谷、宇奈月温泉、埋没林、ヒスイ海岸などの活用）
- ・伝統文化の保存・継承（魚津の「たてもん」、朝日の稚児舞、松桜閣等）



砺波地域 砺波市、小矢部市、南砺市

一般機械等や繊維・伝統産業、特色ある農林業が展開されるとともに、歴史・文化、伝統芸能、散居村等の観光資源に恵まれており、高速交通網の活用等により、さらに交流人口の増加が期待される、豊かな田園空間の魅力あふれる地域。

〈取組みの方向〉

- ・一般機械産業や電子部品、繊維などの産業振興や、井波彫刻など伝統産業の高付加価値化
- ・たまねぎやチューリップなど特色ある農林水産業の振興と、生産性・ブランド力の強化
- ・東海北陸自動車道など広域的な交通基盤の整備促進、交通アクセスの向上による地域活性化
- ・観光資源の活用（五箇山合掌造り集落、となみチューリップフェア、利賀芸術公園等の活用等）
- ・伝統文化の保存・継承（城端神明宮祭の曳山行事、五箇山麦屋まつり・こきりこ祭り、源平火牛まつり、各地の夜高祭等）

富山地域 富山市、滑川市、舟橋村、上市町、立山町

医薬品産業をはじめとした高度なものづくり産業や高等教育・研究機関等が集積し、活発な経済活動が行われるとともに、豊かで美しい自然や特色ある歴史・文化などに恵まれた、個性豊かな中核都市地域。

〈取組みの方向〉

- ・医薬品関連、一般機械、金属製品、深層水関連産業の振興
- ・呉羽なしやホタルイカ、シロエビ等の特色ある農林水産物等の生産拡大とブランド力の強化
- ・富山駅や富山さときと空港を核とした交通基盤の整備、伏木富山港の港湾機能の充実等による交通ネットワークの充実と地域活性化
- ・観光資源の活用（立山黒部アルペンルート、立山黒部ジオパーク、ミシュランガイド等を活用した食の魅力発信等）
- ・伝統文化の保存・継承（越中おわら風の盆、八尾曳山祭、布橋灌頂会、滑川のネプタ流し、上市のにおとんぼ焼き等）



長期構想

~次の世代につなぐ7つの構想~

計画期間よりもさらに長期的な展望に立ち、20年から30年後における富山県の姿、県民の生活がどのように発展・充実しているかをイメージできるような、富山県の将来への希望を持てるようなビジョンをお示ししています。

4.文化・知の交流のハブ構想

未来を自ら切り拓く人材、富山県人としてのアイデンティティを持ったグローバル人材を育成していくとともに、様々な分野で国内外の人々とのつながりを形成・強化し、クリエイティブで訴求力の強いコンテンツを生み出し続け、富山県が世界における文化・知の交流の中核として発展していくことを目指します。



1.世界のものづくり拠点構想

研究開発拠点・高付加価値拠点の強化や文化との融合による次世代型イノベーションの推進、最先端の生産拠点やデザイン拠点の形成、環日本海・アジア地域のゲートウェイ機能のさらなる充実、グローバル戦略の展開などを通じ、世界のものづくり拠点として発展することを目指します。



5.環境・エネルギー フロントランナーとやま構想

循環型・低炭素・自然共生社会づくりを進めるとともに、環境に配慮した快適で、安心して出かけられるまちづくりを進め、県民が真に暮らしの豊かさを感じられる、世界の中の「環境・エネルギーフロントランナー」として発展することを目指します。



2.人生100年時代とやま構想

医薬品やライフサイエンスの分野における世界的な研究開発・生産拠点の形成を図り、最先端技術を取り入れた地域での医療の充実を図ることを目指します。そして、人々の多様なライフスタイルに応じて働くことができる環境が整備され、地域において、誰もが時間や空間にかかわらず働き、健康で安心して暮らし続けることができる県づくりを進め、健康、元気な「とやま次世代共生社会」の実現を目指します。



6.世界ブランド「立山黒部」発信構想

立山連峰の魅力を再発見して積極的に発信していくとともに、その保全と、観光、教育、産業、防災など様々な分野での利活用を一層推進していきます。また、広域交通ネットワークの活用により、東アジア、欧米、オセアニア地域など国外からも多くの人が訪れる世界水準の滞在型・体験型の山岳観光地を目指します。



3.富山がリードする 食と農の王国構想

本県の米、水産物、特産品等の全国に誇りうる食材や多様な食文化が、国内外に通用する商品となるよう、戦略的な商品の生産・流通技術の開発、安全かつ衛生的な生産の促進、ブランド化や農産物の輸出等に取り組みます。あわせて、環境問題や地域活性化などの多様な観点から農林水産業をとらえ、他分野との連携を図りながら、これらの課題への対応にも貢献していきます。



7.水がつなぐ豊かな海・里山構想

本県の豊かで清らかな水資源を大切に守り、その魅力を積極的に発信するとともに、新たな里山ライフの形成や里山資源を活かした交流人口の拡大、さらには、富山湾の特徴を活かした海洋観光の振興や海洋資源の活用など、観光・産業・健康など様々な分野での利活用を一層推進することにより、きれいな水、美しい富山湾と豊かな里山を将来にわたって引き継いでいくことを目指します。



県政運営の基本姿勢

計画に基づく県づくりを着実に進め、新しい時代に適応した政策の展開を図るため、県では以下の基本姿勢で県政運営を進めていきます。

- 1 オープンで分かりやすい県政
- 2 県民の自立と幸せを重視する県政
- 3 スピード重視の県政
- 4 現場重視で効率的な県政
- 5 市町村、地域との連携と支援、県土の均衡ある発展
- 6 「とやまから日本を変える」改革と創造



知事のタウンミーティング

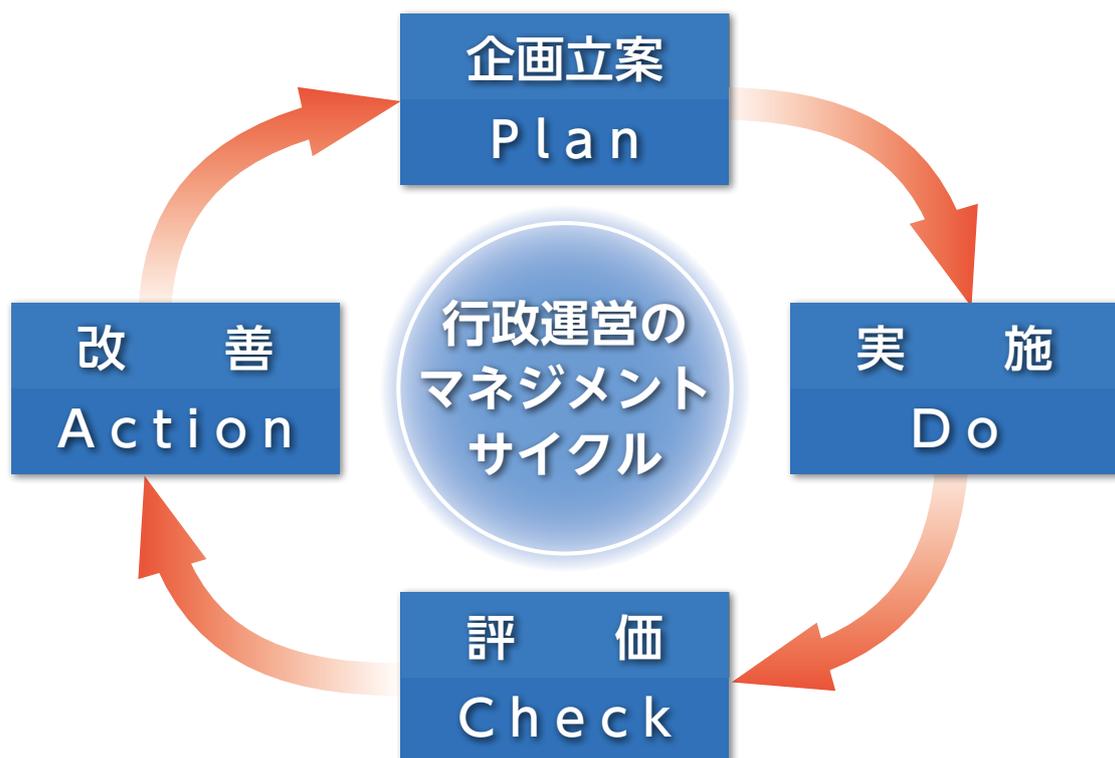
計画の実効性の確保と推進

1 計画の実効性の確保

計画、実行、評価、改善のPDCAサイクルによるマネジメントシステムにより計画の実効性を確保していきます。計画に掲げる政策について毎年度政策評価を行い、毎年の予算編成を通じて改善を図っていきます。

計画に掲げた政策については、マネジメントシステムなどによって評価及び必要に応じた改善等を行いながら、社会経済情勢の変化にも柔軟に対応した施策を展開していきます。

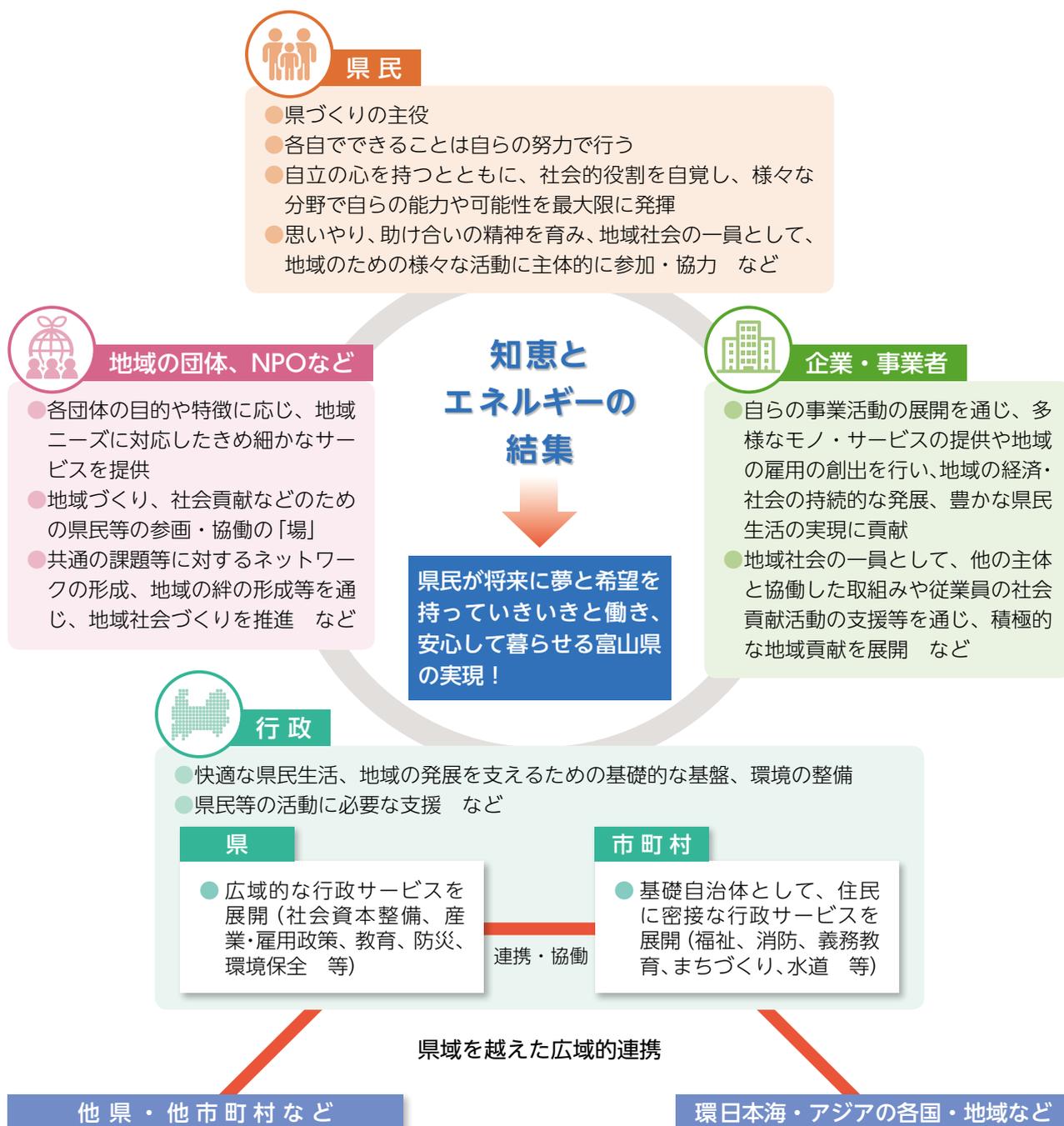
■PDCAサイクル

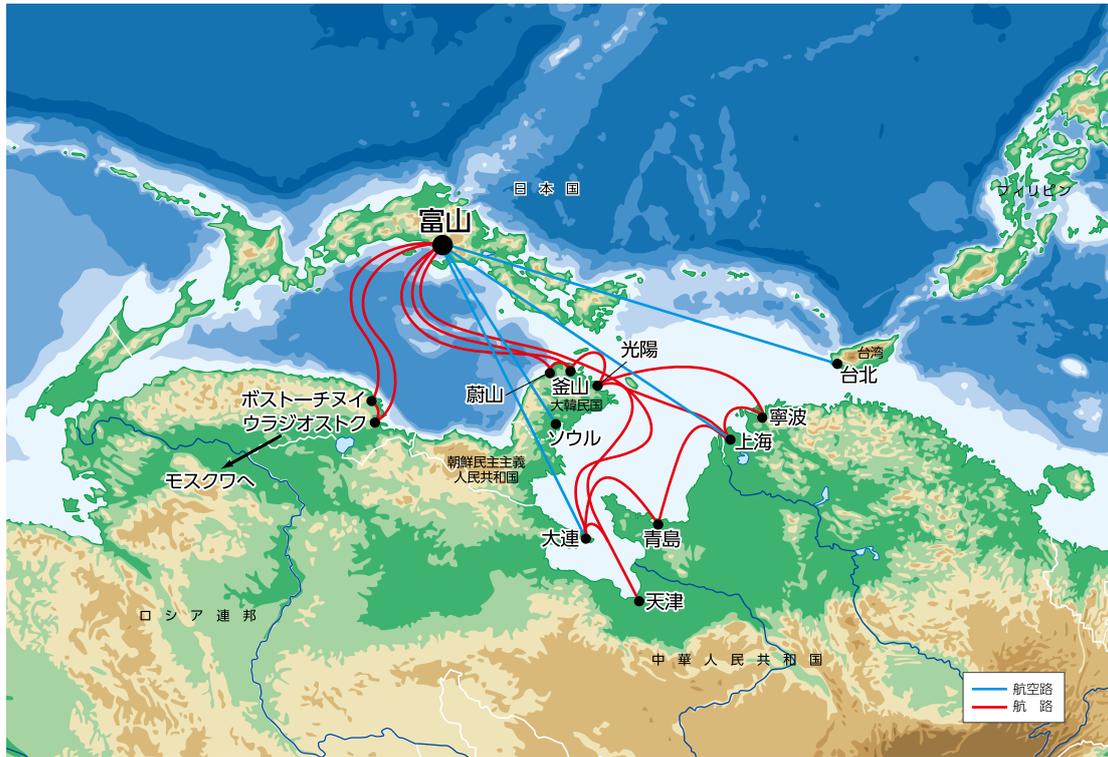


2 計画の推進

これからの県づくりにあたっては、県や市町村、地域の団体やNPO、企業、そして県づくりの主役である県民一人ひとりが、自らの役割を認識しつつ、積極的に参画することが不可欠です。

■各主体が役割を担い、総力を結集した県づくり





富山県総合計画
元気とやま創造計画
 —とやま新時代へ 新たな挑戦—
【概要版】

発行 平成30年11月
 発行者 富山県(総合政策局 企画調整室)
 〒930-8501 富山市新総曲輪1-7
 TEL 076-431-4111 (代表)
 URL <http://www.pref.toyama.jp/>

「元気とやま創造計画 —とやま新時代へ 新たな挑戦—」は、
 富山県のホームページ上から詳しく見ることができます。